

主な県立施設の経営状況

1. 目的

県では、県民福祉の増進を目的に、県民が広く利用できる「公の施設」を設置しています。施設の管理運営は、県が自ら行うものや、財団や民間企業等に委託しているものがありますが、今後の効率的な施設運営、維持管理に役立てるため、ここでは、各施設が1つの法人になったと仮定して、企業会計的な手法を取り入れ、施設にかかっているすべてのコストを算定しました。

2. 対象施設

県が設置した施設で、市町に管理を委託している施設、利用者数・減価償却費などの把握が困難な施設、利用者が限定される試験研究機関等を除いた 35 施設について作成しました。対象施設と供用開始年度、指定管理者制度の導入状況は以下のとおりです。

教育研修			健康・スポーツ		
香川県青年センター	S44	◎	香川県立武道館	S41	◎
香川県立保健医療大学	H11		香川県立総合水泳プール	H 2	◎
香川県立高等技術学校	S42		香川県総合運動公園	S57	◎
香川県立農業大学校	S52		香川県立丸亀競技場	H 9	◎
香川県立五色台少年自然センター	S46		公園		
香川県立屋島少年自然の家	S50		瀬戸大橋記念公園	S63	◎
福祉医療			栗林公園	M 8	
香川県社会福祉総合センター	H 9	◎	香川用水記念公園	H 9	◎
さぬきこどもの国	H 7	◎	産業振興		
香川県立斯道学園	S22		香川県産業交流センター (サンメッセ香川)	H 5	◎
香川県立川部みどり園	S27		香川県新規産業創出支援センター (ネクスト香川)	H11	◎
香川県ふじみ園	S54	◎			
かがわ総合リハビリテーションセンター	S61	◎			
動物愛護管理			香川県科学技術研究センター (FROM香川)	H12	◎
さぬき動物愛護センター	H30				
生涯学習・文化・交流施設			駐車場		
情報通信交流館	H16	◎	香川県番町地下駐車場	H 5	◎
香川県立文書館	H 5		香川県玉藻町駐車場	H 9	◎
香川国際交流会館	H 7	◎	多目的広場地下駐車場	H16	◎
サンポート高松交流拠点施設	H16	◎	高松空港県営駐車場	H26	◎
香川県立図書館	H 5				
香川県立ミュージアム	H11				
香川県県民ホール	S63	◎			
東山魁夷せとうち美術館	H17				

◎：指定管理者制度の導入施設

3. 作成基準

総務省が平成13年3月に策定した「地方公共団体のための総合的な財政分析に関する調査研究会報告書」に準じて作成しました。

従来からの決算収支をベースに、減価償却費、公債費（利子）等、その他施設にかかっているすべての費用（行政コスト）を明らかにしました。

例

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県青年センター		
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度
施設の種類	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（香川県連合青年会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）		
整備事業費	765,085千円	施設の概要	
		【施設】 研修宿泊棟(本館)、付属棟(別館)、倉庫棟、体育館、野外活動場(芝生広場、グラウンド) ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。 研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム(6.47kWh)を導入。 総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積 2,806.82㎡	
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大会議室(4h)	3,680円	平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営	
小会議室(4h)	1,200円	職員7名(正規職員2名、嘱託職員5名)	
野外活動場(4h)	2,160円	平成24年12月1日～令和3年3月31日：全部委託	
宿泊施設(1泊)	洋室1,820円、和室1,570円	職員8名(所長1名、部長1名、係4名、宿直員2名)	
体育館(1hあたり)	全面1,490円、半面890円		

土地取得費のほか、建物を建築するのに要した経費を記載しています。
(現存データを活用し、取得費が不明なものについては、記載していません。)

整備のためにあてた県債の残高を記載しています。

行政コスト計算書				
【行政コスト】 令和2年度 (千円)				
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	21,912	41.5%	22,031	△119
人件費	21,912	41.5%	22,031	△119
退職給与引当金繰入等	624	1.2%	623	1
小計	22,536	42.7%	22,654	△118
物にかかるコスト	11,563	22.0%	14,377	△2,814
物件費	11,563	22.0%	14,377	△2,814
維持補修費	971	1.8%	967	4
減価償却費	15,954	30.2%	15,954	
その他				
小計	28,488	54.0%	31,298	△2,810
その他のコスト	1,669	3.1%	1,731	△62
公債費(利子のみ)	1,669	3.1%	1,731	△62
その他	99	0.2%	98	1
小計	1,768	3.3%	1,829	△61
行政コスト合計 ①	52,792	100.0%	55,781	△2,989
【収入項目】				
使用料・手数料	9,053	17.1%	17,704	△8,651
国庫支出金				
その他				
計 ②	9,053	17.1%	17,704	△8,651
県単独負担額 ①-②	43,739	82.9%	38,077	5,662

- 県債残高 (R3.3.31現在) 292,860千円
- 利用の状況 (年間利用者数)

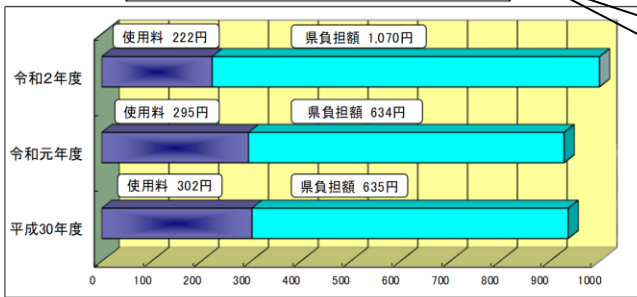
H30	60,265人
R元	60,020人
R2	40,855人

- コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)

H30	937円
R元	929円
R2	1,292円

設備投資等、資産の形成にかかる経費を除いて、施設を運営するのに要したすべての経費を記載しています。
収入項目の「県単独負担額」とは、「行政コスト合計」から使用料等の収入を引いた額です。

利用者1人当たりのコスト負担の状況



利用1回当たり、利用者1人当たりにかかるコストを経年比較しています。

● コスト削減、利用向上に向けた取組み状況
指定管理者制度導入によりコスト削減を図っている。
また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「全国青年活動研究集会」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。

4. 概要一覧

(I) 利用1回当たりのコスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	利用1回当たりのコスト (円)					利用者 負担率	1回当たり コスト比較 R2/R元	利用件数 対前年度 増減率	
				①/②			財源内訳(円)					
				利用料	財産 収入等	県単独 負担額						
教育研修	香川県青年センター	52,792	40,855人	1人当たり	1,292	222	0	1,070	17.1%	139.1%	▲ 31.9%	
	香川県立五色台少年自然センター	203,631	7,169人	1人当たり	28,405	56	490	27,859	0.1%	257.6%	▲ 71.7%	
	香川県立屋島少年自然の家	139,646	5,726人	1人当たり	24,389	40	504	23,845	0.3%	412.0%	▲ 82.1%	
福祉医療	香川県社会福祉総合センター	306,469	113,866人	1人当たり	2,691	261	118	2,312	9.7%	166.6%	▲ 40.6%	
	さぬきこどもの国	802,156	264,956人	1人当たり	3,028	51	56	2,921	1.6%	246.6%	▲ 58.6%	
動物愛護管理	さぬき動物愛護センター	209,922	9,292人	1人当たり	22,592	0	10,137	12,455	0.0%	-	-	
生涯学習・文化交流施設	情報通信交流館	207,255	61,880人	1人当たり	3,349	37	▲ 326	3,638	1.0%	208.4%	▲ 50.4%	
	香川県立文書館	175,419	30,090人	1人当たり	5,829	137	10	5,682	2.4%	179.4%	▲ 45.2%	
	香川国際交流会館	52,341	66,086人	1人当たり	792	95	0	697	12.0%	78.5%	▲ 4.1%	
	サンポート高松交流拠点施設	558,225	利用の状況: 国際会議場 稼働率23.0%、展示場 稼働率32.0%、観光情報センター 利用者数 21,303人 産業振興センター 入居率100%、屋外広場 稼働率10.1%、タワー地下駐車場 利用台数19,674台									
	香川県立図書館	358,702	373,213人	1人当たり	961	0	2	959	0.1%	129.0%	▲ 22.5%	
	香川県立ミュージアム	676,476	40,350人	1人当たり	16,765	261	391	16,113	1.6%	294.8%	▲ 70.2%	
	香川県県民ホール	807,999	79,370人	1人当たり	10,180	994	505	8,681	9.8%	449.8%	▲ 79.0%	
	東山魁夷せとうち美術館	100,534	20,439人	1人当たり	4,919	160	146	4,613	3.3%	287.8%	▲ 60.1%	
健康・スポーツ	香川県立武道館	54,109	29,850人	1人当たり	1,812	50	119	1,643	2.7%	187.2%	▲ 49.4%	
	香川県立総合水泳プール	177,894	73,971人	1人当たり	2,405	176	189	2,040	7.3%	169.5%	▲ 47.8%	
	香川県総合運動公園	208,786	88,236人	1人当たり	2,366	201	103	2,062	8.5%	334.7%	▲ 68.0%	
	香川県立丸亀競技場	499,066	152,109人	1人当たり	3,281	187	101	2,993	5.7%	212.1%	▲ 53.7%	
公園	瀬戸大橋記念公園	269,051	313,800人	1人当たり	858	12	158	688	1.4%	117.4%	▲ 29.1%	
	栗林公園	371,483	359,199人	1人当たり	1,034	318	58	658	30.7%	181.4%	▲ 50.5%	
	香川用水記念公園	61,069	58,205人	1人当たり	1,049	0	0	1,049	0.0%	92.2%	▲ 6.4%	
産業振興	香川県産業交流センター (サンメッセ香川)	312,903	78,000人	1人当たり	4,012	834	25	3,153	20.8%	650.2%	▲ 85.6%	
駐車場	香川県番町地下駐車場	133,438	61,138台	1台当たり	2,183	722	8	1,453	33.1%	121.4%	▲ 25.6%	
	香川県玉藻町駐車場	96,915	20,999台	1台当たり	4,615	850	0	3,765	18.5%	248.3%	▲ 67.0%	
	多目的広場地下駐車場	185,876	75,494台	1台当たり	2,462	742	0	1,720	30.1%	170.6%	▲ 43.1%	
	高松空港県営駐車場	5,938	89台	1台当たり	66,719	0	66,719	0	0.0%	4389.4%	▲ 98.5%	

(Ⅱ)1人当たりの年間利用コスト

分類	名称	行政コスト (千円) ①	利用件数 ②	1人当たりのコスト (円) ①/②		財源内訳(円)			利用者 負担率	1人当たり コスト比較 R2/R元	利用件数 対前年度 増減率
						利用料	財産 収入等	県単独 負担額			
教育研修	香川県立保健医療大学	1,033,515	398人	1人当たり	2,596,772	544,141	45,706	2,006,925	21.0%	98.6%	1.5%
	香川県立高等技術学校	576,460	867人	1人当たり	664,891	17,001	304,434	343,456	2.6%	112.2%	▲ 13.5%
	香川県立農業大学校	297,739	98人	1人当たり	3,038,153	74,490	330,531	2,633,132	2.6%	130.5%	▲ 18.3%
福祉医療	香川県立斯道学園	254,855	12人	1人当たり	21,237,917	5,408,917	156,000	15,673,000	25.5%	80.9%	33.3%
	香川県立川部みどり園	760,198	66人	1人当たり	11,518,151	3,159,757	25,288	8,333,106	27.4%	97.1%	6.5%
	香川県ふじみ園	670,182	150人	1人当たり	4,467,879	3,012,179	279,627	1,176,073	67.4%	95.5%	▲ 5.1%
	かがわ総合リハビリテーションセンター	3,261,826	450.5人	1人当たり	7,240,457	5,468,244	8,328	1,763,885	75.4%	103.5%	▲ 1.4%
産業振興	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)	127,546	252企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	506,135	213,754	0	292,381	42.2%	113.8%	▲ 5.6%
	香川県科学技術研究センター(FROM香川)	71,831	16企業・グループ	1企業・グループ 当たり(年間)	4,489,438	53,563	0	4,435,875	1.2%	114.6%	▲ 15.8%

注)福祉施設の利用料には、自立支援給付費等が含まれます。

注)香川県新規産業創出支援センターと香川県科学技術研究センターは、利用した1企業・グループ当たりの年間コストを算出しています。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県青年センター		
所在地	香川県高松市国分寺町国分1009番地	供用開始年度	昭和44年度
施設の種類	青少年健全育成施設	施設設置根拠	香川県青年センター条例
設置目的	青年に対し、研修、団体活動、国際交流その他の活動を提供することにより、青年の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（香川県連合青年会）（平成24年12月1日から指定管理者制度を導入）		
整備事業費	765,085千円	施設の概要	
		【施設】	研修宿泊棟(本館)、付属棟(別館)、倉庫棟、体育館、野外活動場(芝生広場、グラウンド) ※研修宿泊棟、付属棟及び倉庫棟は平成24年10月に新築竣工、同年11月再オープン。 研修宿泊棟には、昇降機1基と太陽光発電システム(6.47kWh)を導入。 総敷地面積 20,257.18㎡ 建物延面積2,806.82㎡
利用料金	使用料	【職員の状況】	
大会議室(4h)	3,680円	平成24年4月1日～平成24年11月30日：直接運営	
小会議室(4h)	1,200円	職員7名(正規職員2名、嘱託職員5名)	
野外活動場(4h)	2,160円	平成24年12月1日～令和3年3月31日：全部委託	
宿泊施設(1泊)	洋室1,820円、和室1,570円	職員8名(所長1名、部長1名、係4名、宿直員2名)	
体育館(1hあたり)	全面1,490円、半面890円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	21,912	41.5%	22,031	△ 119
	退職給与引当金繰入等	624	1.2%	623	1
	小計	22,536	42.7%	22,654	△ 118
物にかかるコスト	物件費	11,563	22.0%	14,377	△ 2,814
	維持補修費	971	1.8%	967	4
	減価償却費	15,954	30.2%	15,954	
	その他				
小計	28,488	54.0%	31,298	△ 2,810	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,669	3.1%	1,731	△ 62
	その他	99	0.2%	98	1
	小計	1,768	3.3%	1,829	△ 61
行政コスト合計 ①	52,792	100.0%	55,781	△ 2,989	

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	9,053	17.1%	17,704	△ 8,651
国庫支出金				
その他				
計 ②	9,053	17.1%	17,704	△ 8,651
県単独負担額 ①-②	43,739	82.9%	38,077	5,662

●県債残高(R3.3.31現在)

292,860 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

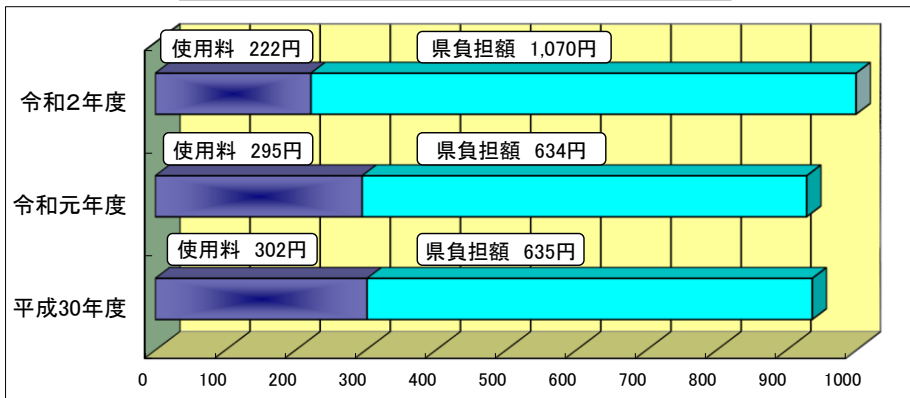
H30	60,265人
R元	60,020人
R2	40,855人

●コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

H30	937円
R元	929円
R2	1,292円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度導入によりコスト縮減を図っている。
また、施設利用の促進については、指定管理者が自主事業として「全国青年活動研究集会」等を開催し、施設の知名度向上や年間利用者数の増加を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立保健医療大学		
所在地	高松市牟礼町原281-1	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	香川県立保健医療大学	施設設置根拠	香川県立保健医療大学条例
設置目的	保健医療に関する高度の専門的な知識及び技術を教授研究し、県民の保健医療の向上と福祉の増進に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	10,667,959千円	施設の概要	
県債	9,945,000千円	【施設】敷地面積	50,751 m ²
一般財源	700,547千円	建物	管理研究棟 2,654 m ² その他 349 m ²
その他	22,412千円	講義棟	4,719 m ²
		実習棟	5,005 m ²
		厚生棟	1,982 m ²
利用料金	大学	教育研究棟	244 m ²
授業料	535,800円	体育館	1,168 m ²
入学料(県内)	197,400円	【職員の状況】	
入学料(県外)	366,600円	職員 65人、会計年度任用職員7人 計72人	
入学選考料	17,000円	(職員内訳 教員 53人、事務 12人)	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	622,961	60.3%	613,355	9,606
人件費	622,961			
退職給与引当金繰入等				
小計	622,961	60.3%	613,355	9,606
物にかかるコスト	407,594	39.4%	414,525	△ 6,931
物件費	194,122	18.8%	208,253	△ 14,131
維持補修費	26,226	2.5%	19,026	7,200
減価償却費	187,246	18.1%	187,246	
その他				
小計	407,594	39.4%	414,525	△ 6,931
その他のコスト	2,960	0.3%	5,030	△ 2,070
公債費(利子のみ)	2,960		5,030	△ 2,070
その他				
小計	2,960	0.3%	5,030	△ 2,070
行政コスト合計 ①	1,033,515	100.0%	1,032,910	605

●県債残高(R3.3.31現在)

2,901,399 千円

●利用の状況

(在学生数)

H30	385人
R元	392人
R2	398人

(定員に対する学生の割合)

H30	98.21%
R元	98.49%
R2	100.00%

●コスト指標

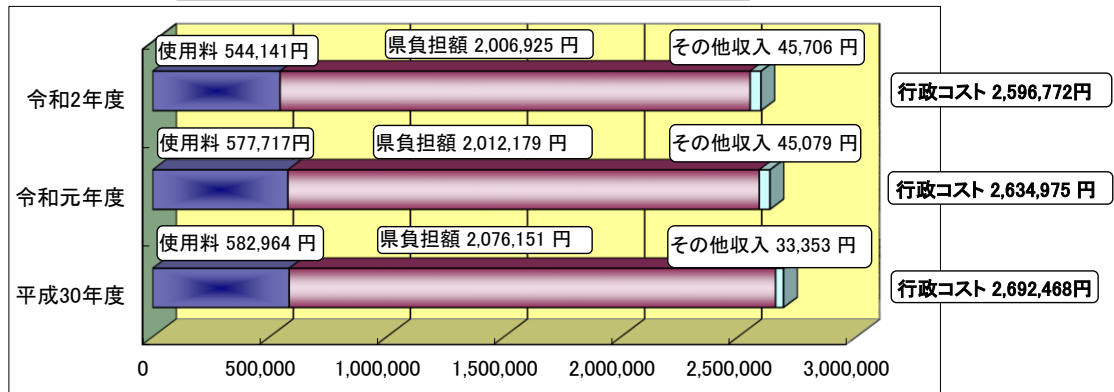
(学生1人当たりにかかるコスト)

H30	2,692,468円
R元	2,634,975円
R2	2,596,772円

【収入項目】

項目	金額	割合	前年度	増減
使用料・手数料	216,568	21.0%	226,465	△ 9,897
国庫支出金				
その他	18,191	1.8%	17,671	520
計 ②	234,759	22.7%	244,136	△ 9,377
県単独負担額 ①-②	798,756	77.3%	788,774	9,982

学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

オープンキャンパス、進路説明会への出席、高校生の大学見学受入、高校訪問、高校教員への大学紹介・入試説明会の開催などのPRや、奨学寄附金など外部資金の獲得に努めた。また、委託業務内容や入札方法の見直しなど、経費縮減に努めた。さらに、平成24年度に助産学専攻科を開設、平成29年度に大学院博士後期課程臨床検査学専攻、令和元年度には大学院博士後期課程看護学専攻を開設するなど、教育研究機能の強化・充実に取り組んでいる。また、地域社会に貢献する開かれた大学とするため、地域連携推進センターを設置している。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立高等技術学校		
所在地	高松市郷東町587-1	供用開始年度	昭和42年度
施設の種類	職業能力開発施設	施設設置根拠	職業能力開発促進法、香川県職業訓練の基準に関する条例、香川県立高等技術学校条例
設置目的	職業に必要な技能及びこれに関する知識を習得することにより、地域産業界の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		鉄筋コンクリート造、鉄骨造、鉄骨スレート など	
		高松校舎 延床面積 12,086.07㎡ 敷地面積 25,066.39㎡	
		丸亀校舎 延床面積 4,683.06㎡ 敷地面積 7,342㎡	
利用料金	授業料等	【職員の状況】	
在職者訓練	2,000円～12,000円	職員 39名 会計年度職員 15名 パート職員10名 計 64名	
求職者に対する職業訓練	無料	(再任用含む)	
	(ただし、教材費等要)		
普通課程の施設内職業訓練	年額118,800円他		

行政コスト計算書

【行政コスト】	令和 2 年度	(千円)	318,767 千円
項目	当該年度	構成比	前年度 増減
人にかかるコスト	人件費	326,857 56.7%	345,890 △ 19,033
	退職給与引当金繰入等		
	小計	326,857 56.7%	345,890 △ 19,033
物にかかるコスト	物件費	211,085 36.6%	186,401 24,684
	維持補修費	2,042 0.4%	23,563 △ 21,521
	減価償却費	34,072 5.9%	35,108 △ 1,036
	その他		
	小計	247,199 42.9%	245,072 2,127
その他のコスト	公債費(利子のみ)	2,404 0.4%	2,578 △ 174
	その他		
	小計	2,404 0.4%	2,578 △ 174
行政コスト合計 ①	576,460	100.0%	593,540 △ 17,080

● 県債残高 (R3.3.31現在)

318,767 千円

● 利用の状況

(年間入校生数)+(在校生(進級者)数)

H30	756人
R元	825人
R2	754人

(在職者訓練・オーダーメイド訓練生数)

H30	172人
R元	177人
R2	113人

● コスト指標

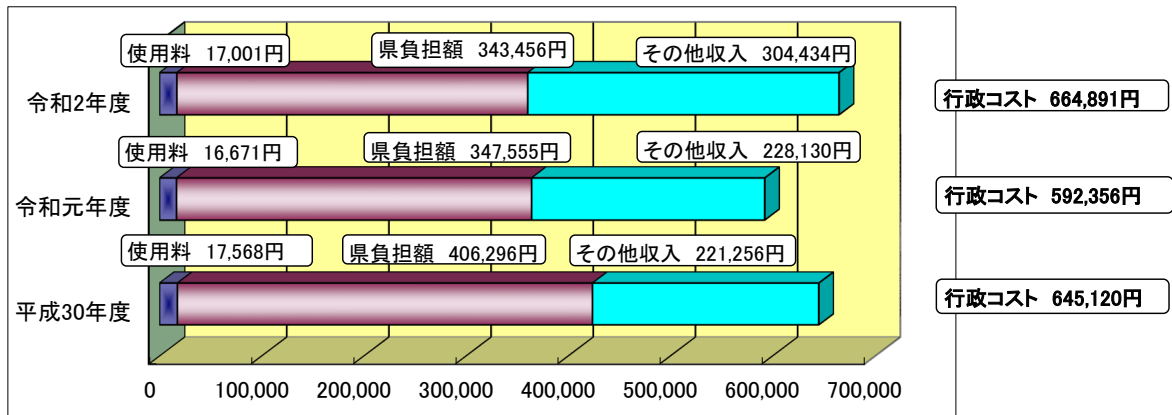
(訓練生1人当たりのコスト)

H30	645,120円
R元	592,356円
R2	664,891円

※ 在職者訓練を含めたコスト

【収入項目】				
使用料・手数料	14,740	2.6%	16,704	△ 1,964
国庫支出金	255,961	44.3%	222,125	33,836
その他	7,983	1.4%	6,461	1,522
計 ②	278,684	48.3%	245,290	33,394
県単独負担額 ①-②	297,776	51.7%	348,250	△ 50,474

訓練生1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成23年度から1校2キャンパス制の導入及び地域職業訓練センターを統合し、事務事業の一元化及び光熱水費等の適切な削減に努めている。令和2年度は、正規職員の減少などにより人件費は減少した。また、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、飛沫防止アクリル板や消毒液の購入など消耗品費の増加等により、物件費が増加した。新型コロナウイルス感染拡大の影響等により職業訓練を受講する訓練生は減少したが、今後においても引き続き、訓練科の再編、訓練コースの見直しや、より効果的なPRも含め、利用向上に向けて取組んでいく。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立農業大学校		
所在地	仲多度郡琴平町榎井34-3	供用開始年度	昭和52年度
施設の種類	教育研修	施設設置根拠	農業改良助長法、香川県立農業大学校条例
設置目的	次代の農業を担い、地域における農業の振興に指導的役割を果たす者を養成し、近代的な農業を推進する農業者等の研修を行う。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	
		総土地面積76,014㎡(実習農場51,915㎡ 機械練習場5,871㎡)	
		建物敷地等18,228㎡)	
		建物 本館(事務室、職員室、会議室、図書室、教室等) 寮舎 体育館 食堂 学生会館	
利用料金	授業料	【職員の状況】	
授業料	118,800円	正規職員14人、再任用職員1人、会計年度任用(フルタイム)職員1人	
就農準備研修(4月~9月)	17,480円	会計年度任用(パートタイム)職員14人	計30人
就農準備研修(10月~3月)	17,800円		
就農実践研修	41,140円		
農業機械利用技能者養成研修Ⅰ、Ⅱ(前期)	2,050円		
農業機械利用技能者養成研修Ⅰ、Ⅱ(後期)	2,090円		

行政コスト計算書

【行政コスト】		令和 2 年度		(千円)	
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	175,695	59.0%	169,626	6,069
	退職給与引当金繰入等			26,800	△ 26,800
	小計	175,695	59.0%	196,426	△ 20,731
物にかかるコスト	物件費	30,960	10.4%	27,100	3,860
	維持補修費	56,086	18.8%	40,272	15,814
	減価償却費	15,433	5.2%	15,433	
	その他	19,443	6.5%		19,443
	小計	121,922	40.9%	82,805	39,117
その他のコスト	公債費(利子のみ)	122	0.1%	90	32
	その他				
	小計	122	0.1%	90	32
行政コスト合計 ①		297,739	100.0%	279,321	18,418

●県債残高(R3.3.31現在)

78,615 千円

●利用の状況

(在学生数)

H30	109人
R元	120人
R2	98人

(定員に対する学生の割合)

H30	79.0%
R元	86.9%
R2	70.5%

●コスト指標

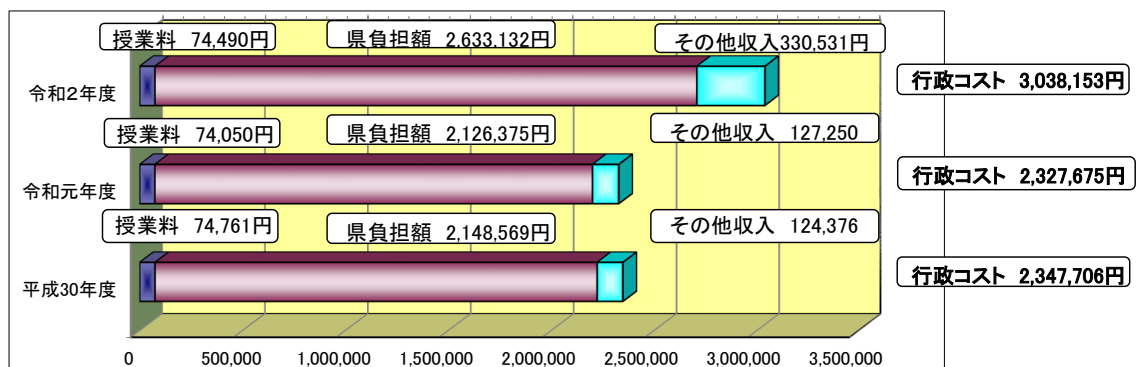
(学生1人当たりにかかるコスト)

H30	2,347,706円
R元	2,327,675円
R2	3,038,153円

【収入項目】

項目	令和2年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	7,522	2.5%	9,154	△ 1,632
国庫支出金	21,850	7.3%	2,841	19,009
その他	10,320	3.4%	12,161	△ 1,841
計 ②	39,692	13.2%	24,156	15,536
県単独自負担額 ①-②	258,047	86.8%	255,165	2,882

学生1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

農業情勢の変化や学生・研修生の実態やニーズを踏まえ、教育・研修の向上に努めた。担い手養成科では、農業経営について直接農家から学ぶ機会を拡充するとともに今日的な課題に対応するため、「スマート農業」や「鳥獣被害対策演習」を新設した。技術研修科では、多様なルートからの農業参入を促進する就農基礎講座や、新規就農者の経営発展を支援するフォローアップ研修を開講する等、ニーズに対応した研修の実施に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立五色台少年自然センター		
所在地	高松市生島町423	供用開始年度	昭和46年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立五色台少年自然センター条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託: 委託内容(施設及び設備の維持管理業務、給食管理等業務、給食調理業務、利用者の送迎業務)		
整備事業費	1,105,776千円	施設の概要	
国庫支出金	35,000千円	【施設】 本館、宿泊棟、研修棟、天体観測棟、野外活動棟等 敷地面積 136,983.87㎡ 延床面積 9,893.7㎡	
一般財源	1,070,776千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】 令和3年3月31日現在	
一般	930円	正規職員12名 嘱託職員2名 計14名	
小学生以下(学校行事等)	340(250)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団五色台事業所職員	
中学生(学校行事等)	440(360)円	嘱託職員3名 計3名	
高校生(学校行事等)	520(440)円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	103,300	50.7%	112,255	△ 8,955
退職給与引当金繰入等			32,133	△ 32,133
小計	103,300	50.7%	144,388	△ 41,088
物にかかるコスト				
物件費	24,689	12.1%	77,297	△ 52,608
維持補修費	1,341	0.7%	2,466	△ 1,125
減価償却費	71,876	35.3%	53,780	18,096
その他				
小計	97,906	48.1%	133,543	△ 35,637
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	2,425	1.2%	1,591	834
その他				
小計	2,425	1.2%	1,591	834
行政コスト合計 ①	203,631	100.0%	279,522	△ 75,891

●県債残高(R3.3.31現在) 982,495 千円

●利用の状況 (年間利用者数)

H30	25,767人
R元	25,348人
R2	7,169人

(年間利用団体数)

H30	121団体
R元	116団体
R2	73団体

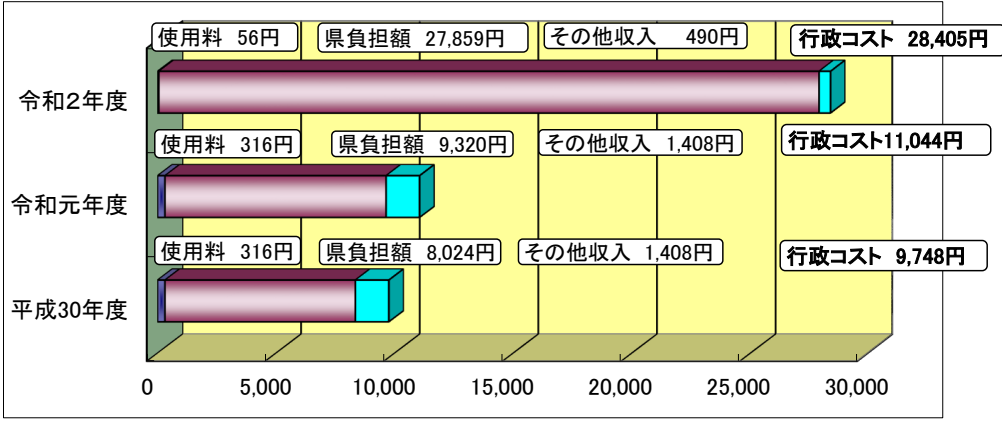
●コスト指標 (利用者1人当たりのコスト)

H30	9,748円
R元	11,044円
R2	28,405円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	401	0.2%	8,011	△ 7,610
国庫支出金				
その他	3,511	1.7%	35,696	△ 32,185
計 ②	3,912	1.9%	43,707	△ 39,795
県単独負担額 ①-②	199,719	98.1%	235,815	△ 36,096

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況
令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団宿泊学習が日帰り活動等に変更されたこと等により、施設利用の頻度が大幅に減少したため、前年度と比較し、行政コストが激増した。新型コロナウイルス感染症の流行収束後は、青少年団体への施設利用の働きかけ等により、利用促進に努める。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立屋島少年自然の家		
所在地	高松市屋島東町34-1	供用開始年度	昭和50年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立屋島少年自然の家条例
設置目的	自然の環境の中で行う集団宿泊学習、野外活動等を通じ、青少年の心身の健全な育成を図ることを目的とする。		
施設運営方法	一部委託・委託内容(給食等の提供業務)		
整備事業費	949,000千円	施設の概要	
国庫支出金	60,000千円	【施設】	
県債	144,000千円	管理棟、第1宿泊棟、第2宿泊棟、体育館等	
一般財源	739,000千円	敷地面積 84,531.65㎡	
その他	6,000千円	延床面積 6,768.73㎡	
利用料金	使用料	【職員の状況】 令和3年3月31日現在	
一般	930円	正規職員 10名 嘱託職員1名 計11名	
小学生以下(学校行事等)	340(250)円	公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団屋島事業所職員	
中学生(学校行事等)	440(360)円	正規職員 1名 計1名	
高校生(学校行事等)	520(440)円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	77,664	55.6%	90,719	△ 13,055
退職給与引当金繰入等				
小計	77,664	55.6%	90,719	△ 13,055
物にかかるコスト				
物件費	18,186	13.0%	54,140	△ 35,954
維持補修費	1,870	1.3%	2,674	△ 804
減価償却費	40,573	29.1%	40,573	
その他				
小計	60,629	43.4%	97,387	△ 36,758
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,353	1.0%	1,377	△ 24
その他				
小計	1,353	1.0%	1,377	△ 24
行政コスト合計 ①	139,646	100.0%	189,483	△ 49,837

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	227	0.2%	9,007	△ 8,780
国庫支出金				
その他	2,884	2.1%	42,077	△ 39,193
計 ②	3,111	2.2%	51,084	△ 47,973
県単独負担額 ①-②	136,535	97.8%	138,399	△ 1,864

●県債残高(R3.3.31現在)

227,700 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	31,527人
R元	32,009人
R2	5,726人

(年間利用団体数)

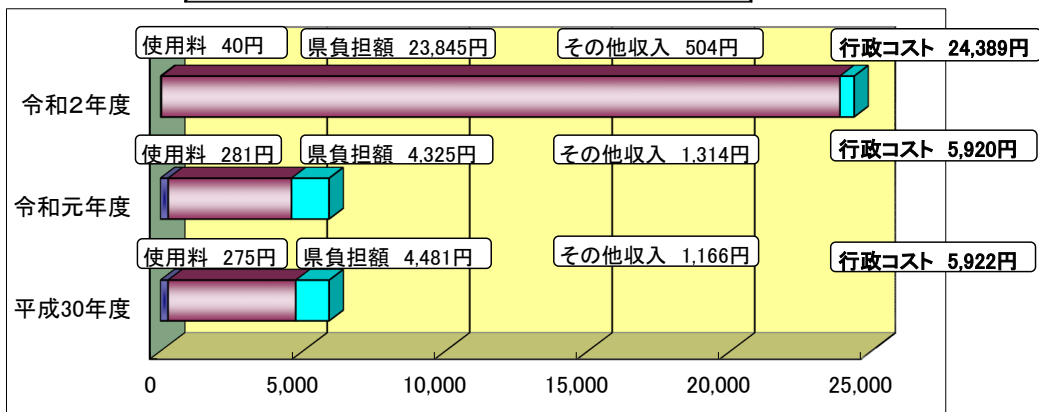
H30	199団体
R元	210団体
R2	88団体

●コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

H30	5,922円
R元	5,920円
R2	24,389円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により、集団宿泊学習が日帰り活動等に変更されたこと等により、施設利用の頻度が大幅に減少したため、前年度と比較し、行政コストが激増した。
 新型コロナウイルス感染症の流行収束後は、青少年団体への施設利用の働きかけ等により、利用促進に努める。

公共施設のコスト計算書

施設名		香川県社会福祉総合センター	
所在地	高松市番町一丁目10番35号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	健康福祉施設	施設設置根拠	香川県社会福祉総合センター条例
設置目的	社会福祉に関する活動の振興を図り、もって県民の福祉の増進に資する。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）かがわ健康福祉機構）		
整備事業費	9,799,848千円	施設の概要	
県債	9,322,000千円	【施設】	鉄筋鉄骨コンクリート造 地上7階、地下3階、塔屋1階
一般財源	442,689千円		敷地面積 2,443.78㎡、延床面積13,290.82㎡
その他	35,159千円		建設手法 香川県、（福）香川県社会福祉協議会、（財）香川県婦人教育協会、（財）香川県自治協会、日本赤十字社及び四国電力㈱の合築方式
利用料金	利用料	【職員の状況】	常勤の役員数 理事長1名、専務理事1名
貸室使用料（全日の場合）冷暖房使用料別途	2,260円～60,470円		職員数 財団職員1名、嘱託職員7名、事務職員5名 計13名
健康プレイルーム個人使用料①、駐車場使用料（1台につき25分あたり）②	①200円 ②100円	注1）	整備事業費には、合築方式による県以外の各団体の負担額は含まない。
ボランティア・男女共同参画交流室、福祉ライブラリー、健康福祉情報システム（専用端末、インターネット等による健康福祉情報提供サービス）	無料	注2）	職員数は、（公財）かがわ健康福祉機構の職員のうち、香川県社会福祉総合センターの管理運営業務に従事する職員数を計上。
		注3）	貸室使用料、健康プレイルーム個人使用料、駐車場使用料には、減免の制度がある。

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和2年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	56,822	18.5%	59,687	△ 2,865
退職給与引当金繰入等				
小計	56,822	18.5%	59,687	△ 2,865
物にかかるコスト				
物件費	101,094	33.0%	99,883	1,211
維持補修費	9,453	3.1%	10,489	△ 1,036
減価償却費	132,360	43.2%	132,360	
その他	5,853	1.9%	6,018	△ 165
小計	248,760	81.2%	248,750	10
その他のコスト				
公債費（利子のみ）	887	0.3%	999	△ 112
その他				
小計	887	0.3%	999	△ 112
行政コスト合計 ①	306,469	100.0%	309,436	△ 2,967

【収入項目】

項目	令和2年度	構成比	前年度	増減
利用料	29,812	9.7%	47,271	△ 17,459
国庫支出金				
その他	13,534	4.4%	13,212	322
計 ②	43,346	14.1%	60,483	△ 17,137
県単独負担額 ①-②	263,123	85.9%	248,953	14,170

●県債残高(R3.3.31現在)

731,235 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	205,559人
R元	191,564人
R2	113,866人

(貸室の月平均利用件数)

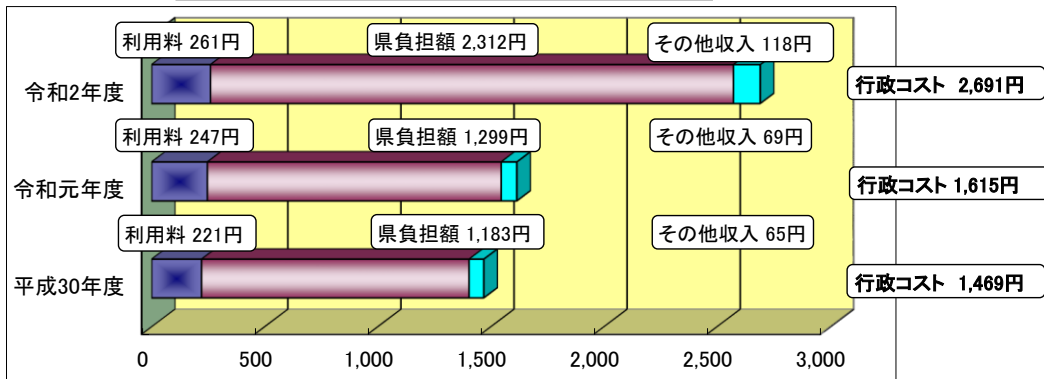
H30	399.2 件/月
R元	401.3 件/月
R2	282.3 件/月

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	1,469円
R元	1,615円
R2	2,691円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・新型コロナウイルス感染症対策と利用者の満足度向上のため、会議室映像等同時配信システム・伝送用LANを整備した。(令和2年8月)
- ・利用者の満足度向上や維持管理のため、特別清掃(タイルカーペット・ピータイル)を実施した。(令和2年10月)
- ・環境エコ対策及び電力使用の節約のため、2階喫茶室(令和2年10月)とOA研修室(令和3年1月)の照明をLEDに交換した。
- ・利用者の満足度向上のため、1階女子トイレ1箇所を和式から洋式に変更した。(令和2年11月)

公共施設のコスト計算書

施設名	さぬきこどもの国		
所在地	高松市香南町由佐3209	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	大型児童館	施設設置根拠	児童福祉法、さぬきこどもの国条例
設置目的	児童に健全な遊びと創造的活動の場を提供するとともに、科学との触れ合いを通じて児童の科学に親しむ心を育み、次代の社会を担う児童の健全な育成と資質の向上を図ることを目的として建設された大型児童館である。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(公益財団法人香川県児童・青少年健全育成事業団)		
整備事業費(千円)	12,808,271千円	施設の概要	
県債	9,457,400千円	【施設】 大型児童館 鉄筋コンクリート3階建 延床面積 5,009.92㎡	
一般財源	3,345,371千円	屋外施設 サイクルセンター、屋外遊具、芝生広場等	
寄付金	5,500千円	【事業団職員の状況】 指定管理者職員24人	
利用費目	利用料		
スペースシアター	500円から		
自転車使用料	200円から		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	96,895	12.1%	96,542	353
	退職給与引当金繰入金等	2,184	0.3%	2,130	54
	小計	99,079	12.4%	98,672	407
物にかかるコスト	物件費	240,212	29.9%	254,636	△ 14,424
	維持補修費	67,641	8.4%	43,730	23,911
	減価償却費	393,985	49.1%	388,346	5,639
	その他	285	0.1%	762	△ 477
	小計	702,123	87.5%	687,474	14,649
その他のコスト	公債費(利子のみ)	954	0.1%	486	468
	その他				
	小計	954	0.1%	486	468
行政コスト合計 ①	802,156	100.0%	786,632	15,524	

●県債残高(R3.3.31現在)

450,000 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

H30	645,287人
R元	640,726人
R2	264,956人

(スペースシアター、貸自転車の利用率)

H30	20.9%
R元	23.0%
R2	30.9%

●コスト指標

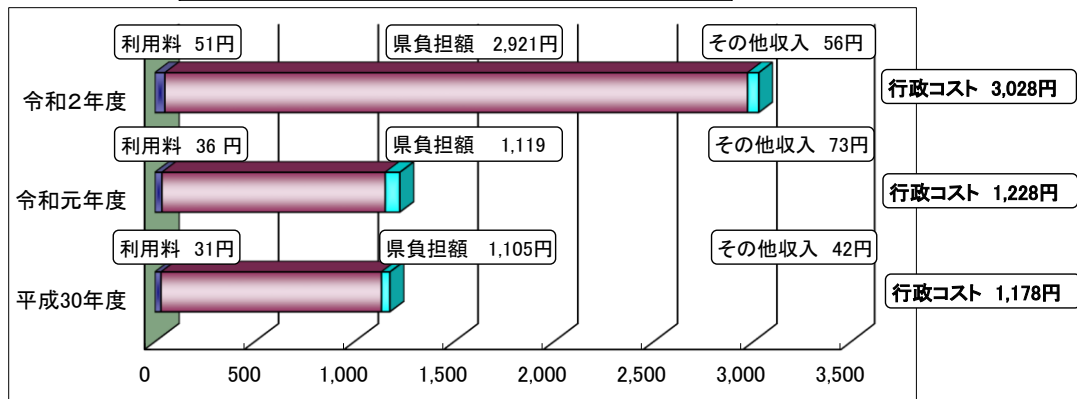
(入園者1人当たりにかかるコスト)

H30	1,178円
R元	1,228円
R2	3,028円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
利用料	13,387	1.7%	22,812	△ 9,425
国庫支出金			21,794	△ 21,794
その他	14,865	1.8%	24,914	△ 10,049
計 ②	28,252	3.5%	69,520	△ 41,268
県単独負担額 ①ー②	773,904	96.5%	717,112	56,792

入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、人件費の削減などコスト削減の取り組みを行っている。
 利用向上に向けて、令和元年度は、児童館1階部分の屋内展示のリニューアルや、県産材等を活用した乳幼児向けの遊び場などの整備を行い、令和2年度は、老朽化したこども劇場の舞台吊物及び舞台照明設備を更新した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立斯道学園		
所在地	高松市西宝町2-6-9	供用開始年度	昭和22年度
施設の種類	児童自立支援施設	施設設置根拠	児童福祉法、香川県立斯道学園条例
設置目的	不良行為をなし、又はなすおそれのある児童及び家庭環境その他環境上の理由により生活指導等を要する児童を入所させ、又は保護者の下から通わせて、個々の児童の状況に応じて必要な指導を行い、その自立を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うこと。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	本館 鉄筋コンクリート造3F 1,674.75㎡ 事務室、教室等 体育館 鉄筋コンクリート造1F 464.00㎡ 男子寮 鉄筋コンクリート造1F 646.62㎡ 女子寮 鉄筋コンクリート造1F 322.14㎡ 入所可能人数 30人
利用料金		【職員の状況】	
保護者の所得に応じ負担			正規職員22人 会計年度任用職員10人 嘱託医2人 計34人

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	181,783	71.3%	167,232	14,551
	退職給与引当金繰入等	5,806	2.3%		5,806
	小計	187,589	73.6%	167,232	20,357
物にかかるコスト	物件費	45,240	17.8%	46,122	△ 882
	維持補修費	155	0.0%	342	△ 187
	減価償却費	15,145	5.9%	15,145	
	その他				
小計	60,540	23.8%	61,609	△ 1,069	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	3,314	1.3%	3,358	△ 44
	その他	3,412	1.3%	4,095	△ 683
	小計	6,726	2.6%	7,453	△ 727
行政コスト合計 ①	254,855	100.0%	236,294	18,561	

収入項目	金額	構成比	前年度	増減
措置費(本人・県負担分等)	35,023	13.7%	68,329	△ 33,306
措置費(国庫支出金)	29,884	11.8%	60,584	△ 30,700
その他	1,872	0.7%	1,626	246
計 ②	66,779	26.2%	130,539	△ 63,760
県単独負担額 ①-②	188,076	73.8%	105,755	82,321

●県債残高(R3.3.31現在) 824,827 千円

●利用の状況
(入所者1人当たりの平均措置費)

H30	1,777,333円
R元	14,323,667円
R2	5,408,917円

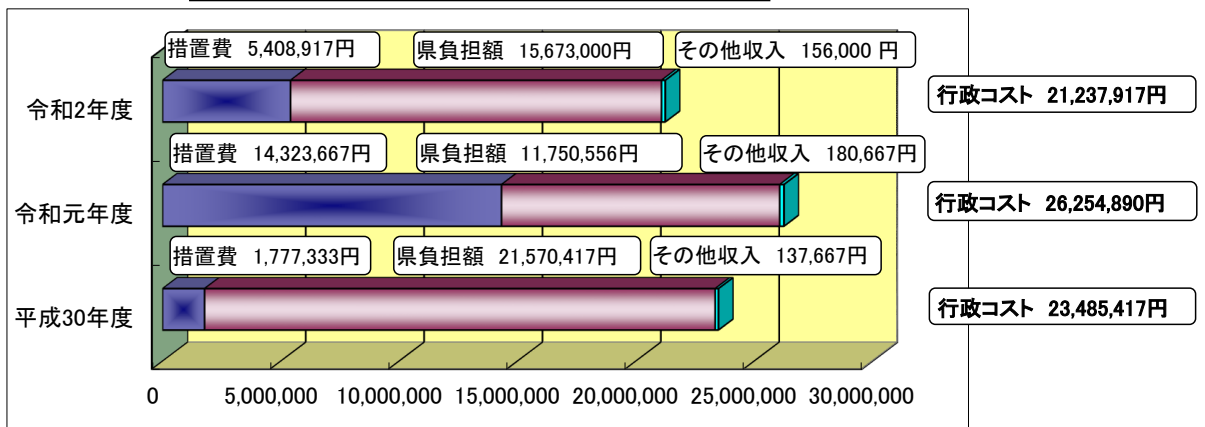
(入所者数)

H30	12人
R元	9人
R2	12人

●コスト指標
(入所者1人当たりにかかるコスト)

H30	23,485,417円
R元	26,254,890円
R2	21,237,917円

入所者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

光熱水費の削減に取り組む。

※入所者数は、月初日措置者数の平均
入所者1人当たりのコストは1人が1年間入所した場合の経費

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立川部みどり園		
所在地	高松市川部町418	供用開始年度	昭和27年度（※1）
施設の種類	障害者支援施設・福祉型障害児入所施設	施設設置根拠	知的障害者福祉法、児童福祉法、障害者総合支援法、香川県立川部みどり園条例
設置目的	障害を持つ児・者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	3,893,560千円	施設の概要	
国庫支出金	252,575千円	【施設】	障害者支援施設 鉄筋コンクリート1F 2,559.77㎡ 定員(入所60名、通所20名) 定員(施設入所支援35名、生活介護42名、生活訓練12名 就労移行支援6名)
県債	2,964,000千円	児施設 鉄筋コンクリート1F 1,282.22㎡ 定員35名	
一般財源	676,985千円		
利用料金		【職員の状況】	
本人・保護者の所得に応じ負担		正規職員58人 会計年度任用職員36人 特別職非常勤(医師)2人 計96人	
		※1 知的障害児施設の設置年度	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	508,634	66.9%	479,516	29,118
退職給与引当金繰入等				
小計	508,634	66.9%	479,516	29,118
物にかかるコスト				
物件費	112,803	14.8%	111,708	1,095
維持補修費	17,561	2.3%	23,315	△ 5,754
減価償却費	113,591	14.9%	113,591	
その他				
小計	243,955	32.1%	248,614	△ 4,659
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	361	0.1%	311	50
その他	7,248	0.9%	7,248	
小計	7,609	1.0%	7,559	50
行政コスト合計 ①	760,198	100.0%	735,689	24,509

●県債残高(R2.3.31現在)

87,260 千円

●利用の状況

(利用者1人当たりの自立支援給付費等)

H30	3,581,568円
R元	3,852,903円
R2	3,159,758円

(利用者数)

H30	74人
R元	62人
R2	66人

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	9,803,392円
R元	11,865,952円
R2	11,518,151円

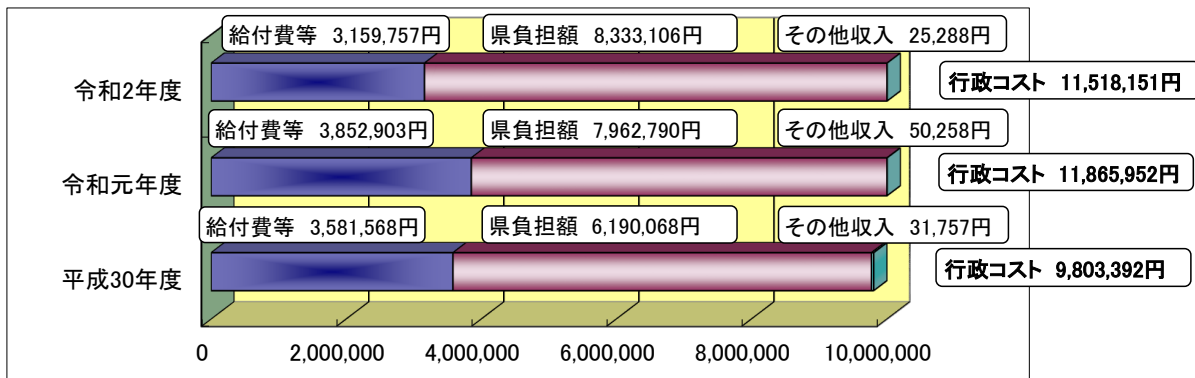
※利用者数は月初日利用者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
自立支援給付費等	159,328	21.0%	186,447	△ 27,119
国庫支出金	49,216	6.5%	52,433	△ 3,217
その他	1,669	0.2%	3,116	△ 1,447
計 ②	210,213	27.7%	241,996	△ 31,783
県単独負担額 ①-②	549,985	72.3%	493,693	56,292

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

全般的な事務費の削減

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県ふじみ園		
所在地	丸亀市飯山町東坂元3667	供用開始年度	昭和54年度
施設の種類	障害者支援施設、福祉ホーム	施設設置根拠	知的障害者福祉法、障害者総合支援法 香川県ふじみ園条例
設置目的	障害者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）香川県社会福祉事業団）		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	おおぞら(旧更生施設) 鉄筋コンクリート 2F 1,948.85㎡ 定員 施設入所支援 60名 生活介護 74名 だいち(旧授産施設) 鉄筋コンクリート 2F 2,093.04㎡ 定員 施設入所支援 50名、生活介護 36名、生活訓練 12名、 就労移行支援 12名、就労継続支援B型 30名 福祉ホーム 鉄筋コンクリート 1F 613.26㎡ 定員20名
利用料金		【職員の状況】	プロパー職員51人 嘱託職員22人 臨時職員19人 計92人
更生施設及び授産施設	本人の所得に応じて負担		
福祉ホーム	光熱水費を実費負担		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和2年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	414,551	61.9%	399,156	15,395
	退職給与引当金繰入等	13,823	2.1%	12,060	1,763
	小計	428,374	63.9%	411,216	17,158
物にかかるコスト	物件費	63,230	9.4%	53,152	10,078
	維持補修費	22,555	3.4%	128,197	△ 105,642
	減価償却費	35,556	5.3%	35,556	
	その他	7,802	1.2%	6,131	1,671
小計	129,143	19.3%	223,036	△ 93,893	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	125	0.1%	125	
	その他	112,540	16.7%	104,572	7,968
	小計	112,665	16.8%	104,697	7,968
行政コスト合計 ①	670,182	100.0%	738,949	△ 68,767	

●県債残高(R3.3.31現在) 83,042 千円

●利用の状況 (利用者1人当たりの自立支援給付費等)

H30	2,897,379円
R元	2,880,318円
R2	3,012,179円

(利用者数)

H30	155人
R元	158人
R2	150人

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	4,102,147円
R元	4,676,893円
R2	4,467,879円

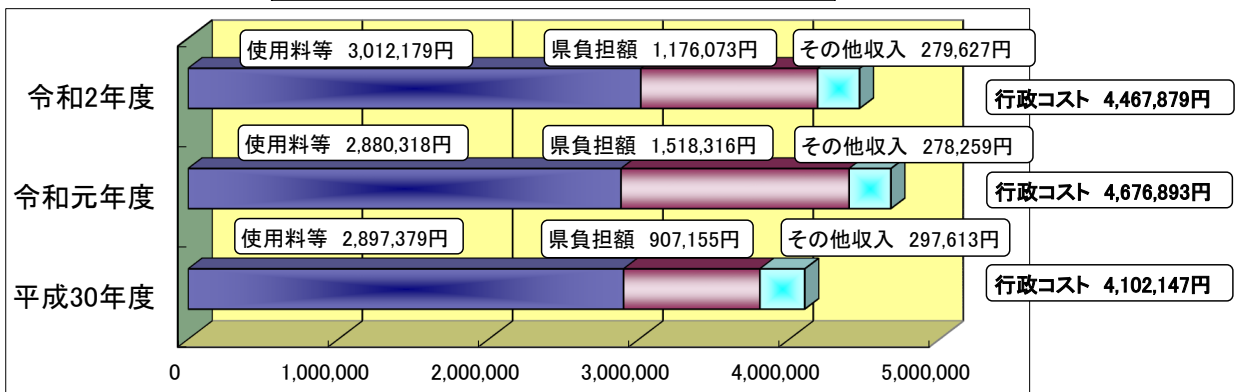
※利用者数は月初日入所者数の平均。

利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。

【収入項目】

自立支援給付費等	451,827	67.4%	455,090	△ 3,263
国庫支出金				
その他	41,944	6.3%	43,965	△ 2,021
計 ②	493,771	73.7%	499,055	△ 5,284
県単独自負担額 ①-②	176,411	26.3%	239,894	△ 63,483

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

日用品等物品購入の削減
光熱水費の節減等

※1 使用料等のうち自立支援給付費等使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。

公共施設のコスト計算書

施設名	かがわ総合リハビリテーションセンター		
所在地	高松市田村町1114	供用開始年度	昭和61年度
施設の種類	障害者支援施設、身体障害者福祉センター、医療型障害児入所施設、病院	施設設置根拠	身体障害者福祉法、児童福祉法、医療法、障害者総合支援法 かがわ総合リハビリテーションセンター条例
設置目的	障害のある者の福祉の増進を図る。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（福）かがわ総合リハビリテーション事業団）		
整備事業費	施設の概要		
	【施設】 病院 鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階 10,103.66㎡ 外来診療、入院114床 こども支援施設 鉄筋コンクリート造 地上2階 4,284.7㎡ 入所定員25名 こども発達支援センター 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部） 利用定員35名 療養介護施設 鉄筋コンクリート造（施設はこども支援施設の一部及び南病棟1階） 入所定員45名 成人支援施設 鉄筋コンクリート造 地上1階 2,567.89㎡ 施設入所支援40名 自立支援（機能訓練、生活訓練）56名、就労移行支援24名 福祉センター 鉄筋コンクリート造 地上2階 3,984.09㎡ プール、体育館、研修室外		
利用料金	職員の状況		
病院、こども支援施設、療養介護施設	プロパー職員 308人 嘱託職員 74人 臨時職員 28人 計410人		
一般的な病院での医療費（医療費助成制度あり）			
成人支援施設、こども支援施設、療養介護施設			
所得に応じて負担			
福祉センター 施設使用料（障害者減免制度有）			

行政コスト計算書					
【行政コスト】 令和2年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	2,240,270	68.7%	2,230,406	9,864
	退職給与引当金繰入等	6,696	0.2%	14,407	△ 7,711
	小計	2,246,966	68.9%	2,244,813	2,153
物にかかるコスト	物件費	300,560	9.2%	289,542	11,018
	維持補修費	36,197	1.1%	20,798	15,399
	減価償却費	255,603	7.8%	255,603	
	その他	123,167	3.8%	99,872	23,295
	小計	715,527	21.9%	665,815	49,712
その他のコスト	公債費（利子のみ）	929	0.1%	940	△ 11
	その他	298,404	9.0%	284,082	14,322
	小計	299,333	9.2%	285,022	14,311
行政コスト合計 ①	3,261,826	100.0%	3,195,650	66,176	

● 県債残高 (R3.3.31現在) 220,942 千円

● 利用の状況 (利用者数) ※1

H30	477.9 人
R元	456.7 人
R2	450.5 人

(入所率) ※2

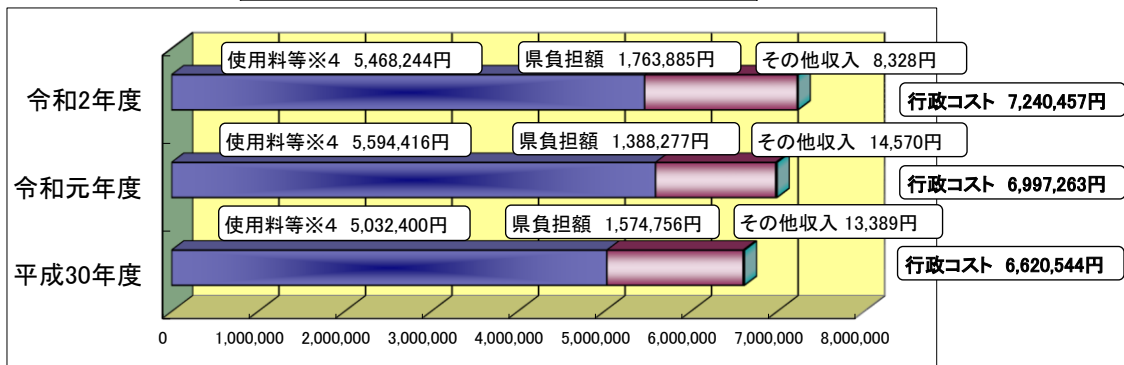
H30	79.5%
R元	74.6%
R2	65.5%

● コスト指標 (利用者1人当たりにかかるコスト) ※3

H30	6,620,544円
R元	6,997,263円
R2	7,240,457円

【収入項目】				
自立支援給付費等	456,938	14.0%	435,204	21,734
診療報酬等	2,006,506	61.5%	2,119,766	△ 113,260
その他	3,752	0.1%	6,654	△ 2,902
計 ②	2,467,196	75.6%	2,561,624	△ 94,428
県単独負担額 ①-②	794,630	24.4%	634,026	160,604

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

物品購入、工事契約の入札化、光熱水費の節減等

※1 利用者数は、入所施設（通所を含む。）の月初日措置者数の平均と病院の入院・外来の1日平均患者数の合計。福祉センターの利用者等は算入していない。
 ※2 入所率は、入所施設（通所を含む。）の月初日措置者数の平均と病院の入院の1日平均患者数の合計を定員で除した率。
 ※3 利用者1人当たりのコストは、1人が1年間利用した場合の経費。
 ※4 使用料等は、自立支援給付費、措置費及び診療報酬等であり、使用料部分は平成18年度から利用料金制に移行している。

公共施設のコスト計算書

施設名	さぬき動物愛護センター		
所在地	香川県高松市東植田町1202番地1	供用開始年度	平成30年度
施設の種別	動物愛護管理センター	施設設置根拠	さぬき動物愛護センター規則
設置目的	動物の愛護及び適正な飼養についての県民の関心及び理解を深めるとともに、人と動物との調和のとれた共生社会の実現に寄与することを目的とする。		
施設運営方法	直接運営(整備費及び運営費等高松市2分の1負担)		
整備事業費	634,305	施設の概要	
高松市負担金	310,598	【施設】	
県債	231,000	センター本棟、ドッグラン、ふれあい広場等	
国費	12,481	総敷地面積 2,743.18㎡ 建物延面積941.82㎡	
一財	80,226	【職員の状況】	
利用料金		職員21名(所長1名、次長2名、職員7名、会計年度任用職員11名)	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	121,103	57.7%	104,666	16,437
	退職給与引当金繰入等	22,079	10.5%		22,079
	小計	143,182	68.2%	104,666	38,516
物にかかるコスト	物件費	44,130	21.0%	44,739	△ 609
	維持補修費	462	0.2%		462
	減価償却費	21,341	10.1%	21,341	
	その他				
小計	65,933	31.4%	66,080	△ 147	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	807	0.4%	524	283
	その他				
	小計	807	0.4%	524	283
行政コスト合計 ①	209,922	100.0%	171,270	38,652	

●県債残高(R3.3.31現在)

230,720 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

-	-
R元	17,314人
R2	9,292人

(年間譲渡動物数)

-	-
R元	1,701頭
R2	1,668頭

●コスト指標

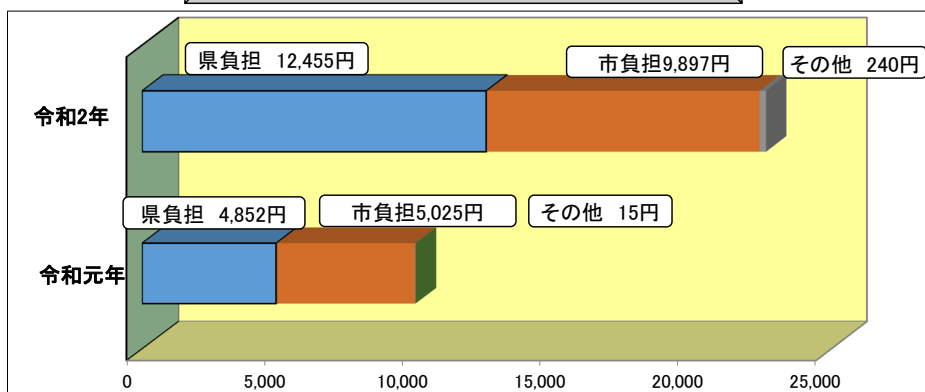
(利用者1人当たりのコスト)

-	-
R元	9,892円
R2	22,592円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
雑入(高松市負担分)	38,563	18.4%	36,058	2,505
雑入(その他)	28	0.0%	27	1
財産収入	239	0.1%	240	△ 1
その他	55,365	26.4%	50,939	4,426
計 ②	94,195	44.9%	87,264	6,931
県単独負担額 ①-②	115,727	55.1%	84,006	31,721

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

イベント等に必要な設備を購入し、一部のイベントは委託せず実施することとコスト縮減を図った。また、「しっぽの森」の認知度を向上させ、利用者数の増加を図るため、HPやSNSでの情報発信や、機関紙の発行を行っている。さらに、動物愛護フェスティバルや出張イベントなどを開催して、動物愛護管理の普及啓発などに取り組んでいる。

公共施設のコスト計算書

施設名	情報通信交流館		
所在地	高松市サンポート2番1号	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	生涯学習施設、研修施設、展示施設	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松の賑わいのある街づくりと県民の情報リテラシーの向上を図る。		
施設運営方法	本施設は、平成16年度から平成25年度までの10年間、BOT方式によるPFI事業で整備、運営されたあと、平成26年度から5年間、指定管理により運営を継続し、令和元年度からも引き続き指定管理者(かがわ県民情報サービス(株))により運営を継続している。また、情報通信関連産業の育成・誘致に取り組むため、5階の一部を改修し、令和2年11月にオープンイノベーション拠点「Setouchi-i-Base(セトウチアイベース)」を整備した。		
整備事業費	1,110,640千円	施設の概要	
施設名	施設利用料	【施設】	高松シンボルタワー タワー棟4階及び5階部分 専有面積 3298.81㎡
小研修室	520円 ~ 5,200円	【職員の状況】	常勤職員 19名 (情報通信交流館で常時勤務している職員)
中研修室	1,040円 ~ 10,400円		勤務時間 8時間×22日=176時間 (一か月あたり)
大研修室	2,090円 ~ 20,900円		非常勤職員(名誉館長) 1名 (情報通信交流館での勤務が一定時間以下の職員)
多目的ホール	5,230円 ~ 52,300円		※Setouchi-i-Base整備により廃止
スタジオ※	3,120円 ~ 31,200円		
スタジオサロン※	1,040円 ~ 10,400円		
Setouchi-i-Base	利用料		
会費	2,000 ~ 20,000円/月		
一時利用	300円/時 (1日最大1,200円)		

【バランスシート】 令和3年3月31日現在

(千円)

資産		負債及び資本	
[資産の部]		[負債の部]	
1. 有形固定資産	8,370	1. 固定負債	619
2. 無形固定資産	3,746	2. 流動負債	42,739
3. 投資等	733	負債合計	43,358
4. 流動資産	147,286	[資本の部]	
資産合計	160,136	1. 資本金	50,000
		2. 利益剰余金 (当期純利益 +前期繰越損失)	66,777
		資本合計	116,777
		負債・資本合計	160,136

(注)記載金額は千円未満の端数を切り捨てて表示している。

●利用の状況

(利用者数)

H30	121,158人
R元	124,749人
R2	61,880人

(貸室利用率)

H30	32%
R元	31%
R2	28%

(注)大・小研修室、多目的ホールの利用率。

●コスト指標(利用者1人当たりのコスト)

	R2	R元	H30
1人あたりのコスト	3,349円	1,607円	1,736円
利用料	37円	18円	14円
県負担分	3,638円	1,762円	1,832円
その他収入	46円	27円	36円
かがわ県民情報サービス 負担分	▲372円	▲200円	▲146円

【コスト計算書】

(千円、%)

項目	2年度	構成比	元年度	30年度
人にかかるコスト	給与	51,591 24.9%	52,359	50,912
	法定福利費等	9,861 4.7%	10,313	9,967
	小計	61,452 29.7%	62,672	60,879
物にかかるコスト	物件費	27,812 13.4%	29,072	24,998
	維持修繕費	32,226 15.5%	13,933	20,460
	減価償却費	3,297 1.6%	968	1,832
	運営業務委託費	68,362 33.0%	69,879	78,493
	その他	14,091 6.8%	23,993	23,694
小計	145,788 70.3%	137,845	149,477	
その他のコスト	固定資産除却損			
	支払利息	15		10
小計	15			10
合計	207,255 100.0%		200,517	210,366

◇委託料について

令和元年度～5年度(5年間)に係る「情報通信交流館の管理に関する包括協定書」を締結し、指定管理業務の事業年度ごとの委託料上限額を定めている。また、当該年度については、「情報通信交流館の管理に関する年度協定書」を締結している。

【収入項目】

(千円、%)

項目	2年度	構成比	元年度	30年度
利用料	2,297 1.0%		2,306	1,675
委託料(県負担分)	225,104 97.8%		219,831	221,926
その他	2,838 1.2%		3,320	4,357
合計	230,239 100.0%		225,457	227,958

(注)金額は全て税抜表示。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立文書館		
所在地	高松市林町2217番地19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	文書館	施設設置根拠	公文書館法、香川県立文書館条例
設置目的	香川県公文書等の管理に関する条例第2条第4項に規定する特定歴史公文書等をはじめとする、歴史資料として重要な公文書、古文書その他の記録を収集・整理・保存し、広く県民の利用に供するとともに、これに関連する調査研究を行い、本県における学術の振興及び文化の向上並びに県政に対する理解の増進及び信頼の向上に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	2,908,304千円	施設の概要	
県債	2,536,000千円	【施設】	鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階・地上3階
一般財源	372,304千円		閲覧室 340㎡
			視聴覚ホール 299㎡ 収容人員 225人
			会議室 62㎡ 収容人員 20人
			書庫 1,833㎡
利用料金	観覧料	【職員の状況】	職員10名 会計年度任用職員6名 計16名
文書館入場料	無料		
視聴覚ホール 貸館	時間当たり 3,660円		
会議室 貸館	時間当たり 1,150円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	88,967	50.7%	90,267	△ 1,300
人件費	88,967	50.7%	90,267	△ 1,300
退職給与引当金繰入等				
小計	88,967	50.7%	90,267	△ 1,300
物にかかるコスト	86,387	49.2%	88,239	△ 1,852
物件費	30,723	17.5%	32,665	△ 1,942
維持補修費	1,705	1.0%	1,852	△ 147
減価償却費	53,959	30.8%	53,722	237
その他				
小計	86,387	49.2%	88,239	△ 1,852
その他のコスト	65	0.0%	38	27
公債費(利子のみ)	65	0.0%	38	27
その他				
小計	65	0.0%	38	27
行政コスト合計 ①	175,419	100.0%	178,544	△ 3,125

●県債残高(R3.3.31現在)

43,000 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	59,376人
R元	54,946人
R2	30,090人

●コスト指標

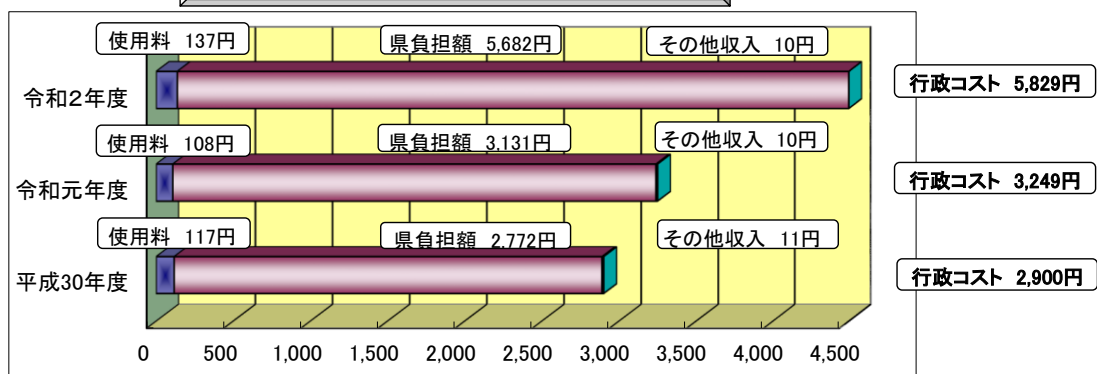
(入館者1人当たりのコスト)

H30	2,900円
R元	3,249円
R2	5,829円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	4,120	2.3%	5,966	△ 1,846
国庫支出金				
その他	312	0.2%	548	△ 236
計 ②	4,432	2.5%	6,514	△ 2,082
県単独負担額 ①-②	170,987	97.5%	172,030	△ 1,043

入館者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

新型コロナウイルス感染拡大の影響で、貸館施設(視聴覚ホール、会議室)の利用者の減少、さらに密を避けるために自習コーナーの定数削減による利用者の減少もあり、入館者一人当たりのコスト負担は増加した。今後とも、管理運営費の節減に努めながら、県民の身近な題材をテーマとした企画展示の開催や、ホームページの充実、マスメディアの活用など、幅広く広報を行い、利用者数の増加を図ることとしている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川国際交流会館		
所在地	高松市番町一丁目11-63	供用開始年度	平成7年度
施設の種類	国際交流施設	施設設置根拠	香川国際交流会館条例
設置目的	本県における国際交流の促進及び文化の向上を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(公益財団法人香川県国際交流協会)		
整備事業費	864,645千円	施設の概要	
県債	696,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造 地下1階・地上3階建 建築面積 787.50㎡ 延床面積 2,474.17㎡
一般財源	168,645千円	【職員の状況】	嘱託職員 5名
		※ 施設は旧県立図書館 整備事業費は、平成5・6年度の整備費	
利用料金	使用料		
大会議室	5,460円~18,210円		
会議室	1,350円~4,530円		
小会議室	620円~2,070円		
和室	620円~2,070円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	19,691	37.6%	23,160	△ 3,469
退職給与引当金繰入等				
小計	19,691	37.6%	23,160	△ 3,469
物にかかるコスト				
物件費	14,139	27.0%	14,948	△ 809
維持補修費	9,670	18.5%	9,281	389
減価償却費	8,690	16.6%	21,940	△ 13,250
その他				
小計	32,499	62.1%	46,169	△ 13,670
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	151	0.3%	198	△ 47
その他				
小計	151	0.3%	198	△ 47
行政コスト合計 ①	52,341	100.0%	69,527	△ 17,186

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	6,311	12.1%	6,009	302
国庫支出金				
その他				
計 ②	6,311	12.1%	6,009	302
県単独負担額 ①-②	46,030	87.9%	63,518	△ 17,488

● 県債残高 (R3.3.31現在)

25,892 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

H30	73,372人
R元	68,933人
R2	66,086人

(会議室利用率)

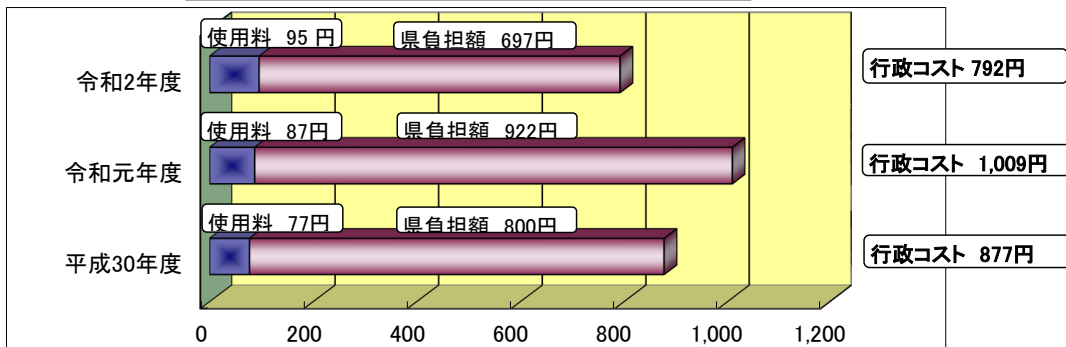
H30	39.3%
R元	40.5%
R2	45.5%

● コスト指標

(利用者1人当たりのコスト)

H30	877円
R元	1,009円
R2	792円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・競争性の確保や契約内容の見直し等により、経費節減に努めている。
- ・ホームページに会議室の空き情報や、写真、配置図等を掲示するなど、利用者の利便性向上に努めている。
- ・国際交流団体等に対して広く利用を呼びかけるなど、会館の利用促進を図っている。

公共施設のコスト計算書

施設名	サンポート高松交流拠点施設		
所在地	香川県高松市サンポート2-1	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	国際会議場、展示場、観光情報センター、駐車場など	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松において、人、物、情報等の総合的な交流拠点を創造することにより、本県のにぎわいを創出するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（シンボルタワー開発株式会社）		
整備事業費	12,074,010千円	施設の概要	
国費	203,400千円	【施設】 かがわ国際会議場、観光情報センター、展示場、多目的広場、大型テント広場、アート広場、高松シンボルタワー地下駐車場、高松シンボルタワー内共用部など	
分担金・負担金	205,400千円		
県債	10,864,000千円		
その他	801,210千円		
施設名	利用料金	【職員の状況】 シンボルタワー開発株式会社（指定管理者）の職員10人でサンポート高松の施設を管理運営 このうち6.2人分をサンポート高松交流拠点施設関係で負担	
国際会議場9:00～17:00	77,700円		
展示場9:00～17:00	69,100円		
多目的広場9:00～17:00	42,600円		
大型テント広場9:00～17:00	69,500円		
高松シンボルタワー地下駐車場 20分	100円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和 2 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	33,831	6.1%	30,717	3,114
	退職給与引当金繰入等				
	小計	33,831	6.1%	30,717	3,114
物にかかるコスト	物件費	74,523	13.3%	78,240	△ 3,717
	維持補修費	115,258	20.6%	104,287	10,971
	減価償却費	183,044	32.8%	183,044	
	その他	117,103	21.0%	110,436	6,667
	小計	489,928	87.7%	476,007	13,921
その他のコスト	公債費(利子のみ)	9,558	1.7%	10,539	△ 981
	その他	24,908	4.5%	39,289	△ 14,381
	小計	34,466	6.2%	49,828	△ 15,362
行政コスト合計 ①		558,225	100.0%	556,552	1,673

●県債残高(R2.3.31現在)

1,509,875 千円

◇「コスト」には国際会議場、展示場、観光情報センター、産業情報センター、屋外広場、シンボルタワー地下駐車場の

- ・人件費
- ・光熱水費
- ・清掃業務、設備日常管理、設備定期点検、保安警備業務
- ・減価償却費
- ・高松シンボルタワー内共用部県負担金
- ・公債費（利子のみ）

などが含まれます。

【収入項目】					
使用料・手数料	63,773	11.4%	89,755	△ 25,982	
国庫支出金					
その他	34,931	6.3%	34,889	42	
計 ②	98,704	17.7%	124,644	△ 25,940	
県単独負担額 ①-②	459,521	82.3%	431,908	27,613	

施設ごとの内訳	国際会議場	展示場	観光情報センター	産業振興センター	屋外広場	シンボルタワー地下駐車場
【収入項目(千円)】						
使用料・手数料	9,568	10,201	2,739	25,318	1,259	14,688
国庫支出金						
その他						
計	9,568	10,201	2,739	25,318	1,259	14,688
【利用の状況】						
指標	稼働率	稼働率	利用者数	入居率	稼働率	利用台数
	23.0%	32.0%	21,303	100.0%	10.1%	19,674

●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

18年度から指定管理者を公募したことによるコスト縮減が図られている。
施設利用受付を1階に移動し、受付窓口を1か所にまとめるなど、利用者の利便性向上に努めている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立図書館		
所在地	高松市林町2217-19	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	社会教育施設	施設設置根拠	香川県立図書館条例
設置目的	本県における中核図書館として、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存して、広く県民の利用に供し、その教養・調査研究・レクリエーション等に資する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	5,795,507千円	施設の概要	
県債	4,767,000千円	【施設】 鉄骨鉄筋コンクリート造り地下1階地上4階 1階 閲覧室 2階 会議室、研修室、視聴覚ホール(全て文書館と共用) 3階 書庫 4階 書庫 敷地面積 19,396.18㎡(文書館と共用) 延床面積 9,562.31㎡	
一般財源	1,028,507千円		
利用料金		【職員の状況】 令和3年3月31日現在 正規職員18名 会計年度任用職員5名 計23名	
資料複写料金(白黒1枚)	10円		
資料複写料金(カラー1枚)	20円		
マイクロリーダー(1枚)	10円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	135,282	37.7%	133,410	1,872
退職給与引当金繰入等				
小計	135,282	37.7%	133,410	1,872
物にかかるコスト				
物件費	156,777	43.7%	154,609	2,168
維持補修費	3,051	0.9%	1,962	1,089
減価償却費	63,450	17.7%	68,787	△ 5,337
その他				
小計	223,278	62.2%	225,358	△ 2,080
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	142	0.0%	79	63
その他				
小計	142	0.0%	79	63
行政コスト合計 ①	358,702	100.0%	358,847	△ 145

● 県債残高(R3.3.31現在) 87,000 千円

● 利用の状況 (年間利用者数)

H30	459,102 人
R元	481,282 人
R2	373,213 人

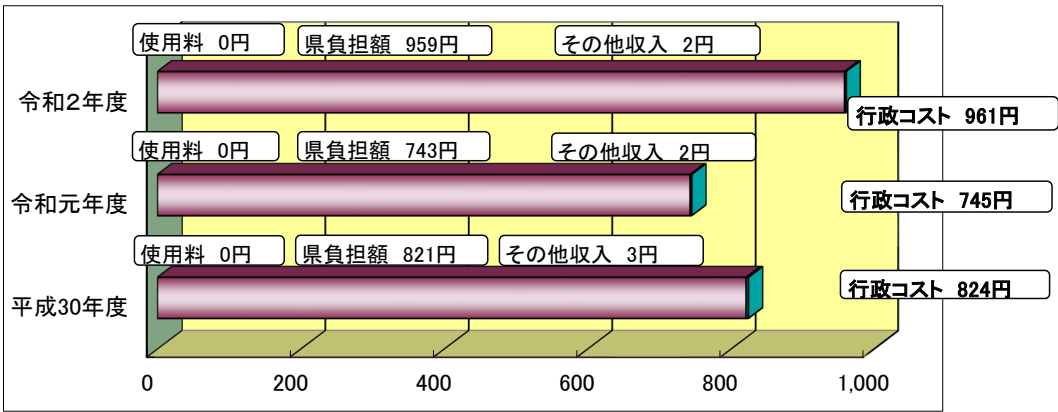
● コスト指標 (入館者1人当たりのコスト)

H30	824 円
R元	745 円
R2	961 円

【収入項目】

項目	令和2年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	20	0.0%	53	△ 33
国庫支出金				
その他	796	0.2%	1,046	△ 250
計 ②	816	0.2%	1,099	△ 283
県単独負担額 ①-②	357,886	99.8%	357,748	138

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況
 コスト縮減への取組みとして、引き続きカウンター業務等を委託した。
 利用向上に向けた取組みとしては、各種行事や展示を行うほかインターネット等を活用した蔵書の予約や県内公立図書館の蔵書検索が可能な図書館情報システムの利用の浸透を図るなど、利用者サービスの向上に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立ミュージアム		
所在地	高松市（玉藻町5-5、亀水町1412-2、番町1-10-39）	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	美術館・博物館 調査研究施設	施設設置根拠	香川県立ミュージアム条例
設置目的	歴史、芸術及び民俗に関する県民の理解を深めるとともに、教育、学術及び文化の発展に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	24,397,271千円	施設の概要	
国庫支出金	15,000千円	【施設】（本館）【ミュ】 鉄骨鉄筋コンクリート造 地上7階、地下2階、塔屋1階 延床面積 19,656.99㎡ 敷地面積 5,016.77㎡ （分館）瀬戸内海歴史民俗資料館【歴民】 鉄筋コンクリート造 一部2階建 延床面積 4,441.11㎡ 敷地面積 45,094.00㎡ （分館）香川県文化会館【文化】 鉄筋コンクリート造 地下1階 地上7階 延床面積 4,628.02㎡ 敷地面積 1,153.98㎡	
県債	17,300,620千円		
一般財源	5,904,291千円		
その他	1,177,360千円		
利用料金	観覧料	【職員の状況】	
一般	410円	正規職員 29人（【ミュ】22人【歴民】5人【文化】2人）	
団体	330円	会計年度任用職員 4人（【ミュ】3人【歴民】1人）	（瀬戸内海歴史民俗資料館はコスト計算の対象外である。）
講堂	23,940円/日		
研修室	9,660円/日		
		計 33人（【ミュ】25人【歴民】6人【文化】2人）	

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	184,881 27.3%	183,084	1,797
	退職給与引当金繰入等		21,599	△ 21,599
	小計	184,881 27.3%	204,683	△ 19,802
物にかかるコスト	物件費	195,541 28.9%	261,390	△ 65,849
	維持補修費	22,896 3.4%	26,858	△ 3,962
	減価償却費	263,333 38.9%	263,333	
	その他			
	小計	481,770 71.2%	551,581	△ 69,811
その他のコスト	公債費(利子のみ)	9,825 1.5%	14,511	△ 4,686
	その他			
	小計	9,825 1.5%	14,511	△ 4,686
行政コスト合計 ①	676,476 100.0%	770,775	△ 94,299	

●県債残高(R3.3.31現在)

4,590,237 千円

●利用の状況(文化会館を含めた利用者数)

H30	131,698人
R元	135,559人
R2	40,350人

●コスト指標

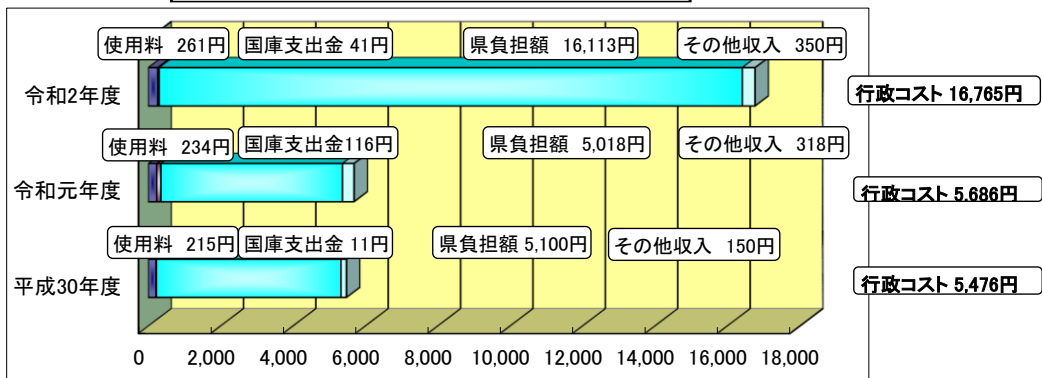
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	5,476円
R元	5,686円
R2	16,765円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	10,523 1.6%	31,770	△ 21,247	
国庫支出金	1,646 0.2%	15,734	△ 14,088	
その他	14,142 2.1%	43,092	△ 28,950	
計 ②	26,311 3.9%	90,596	△ 64,285	
県単独自負担額 ①-②	650,165 96.1%	680,179	△ 30,014	

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・管理運営費の節減に努め、光熱水費については前年度より削減できたものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により臨時休館を余儀なくされたことや県民の外出自粛により、入館者数が大幅に減少したことで行政コストは大幅に増加した。
- ・大規模特別展の実施等により、入館者数の増加に努めたほか、貸館施設の周知を行うことで利用率の向上を図った。
- ・人件費については、引続き勤務時間、週休日の割振りによる超過勤務の削減を図ったが、正規職員が1名増えたことにより、微増となった。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県県民ホール		
所在地	高松市玉藻町9-10	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	文化ホール	施設設置根拠	香川県県民ホール条例
設置目的	県民の文化の振興を図るため。		
施設運営方法	委託: 指定管理者(穴吹エンタープライズ株式会社)		
整備事業費	19,020,237千円	施設の概要	
		【施設】	大ホール棟 小ホール棟
		構造	鉄筋コンクリート 地上6階、地下1階 鉄筋コンクリート 地上6階、地下1階
		建築面積	5,274㎡ 3,635㎡
		収容人員	大ホール 2001席 小ホール 807席
利用料金	使用料	【職員の状態】	
大ホール(4時間)	38,870円~233,200円	指定管理者	22人
小ホール(4時間)	19,220円~115,280円	財団	7人
多目的ホール(4時間)	24,010円~64,830円		
			計 29人

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	94,878 11.7%	96,507	△ 1,629
	退職給与引当金繰入等			
	小計	94,878 11.7%	96,507	△ 1,629
物にかかるコスト	物件費	282,798 35.0%	314,605	△ 31,807
	維持補修費	21,031 2.6%	6,761	14,270
	減価償却費	388,315 48.1%	383,526	4,789
	その他	8,709 1.1%	40,533	△ 31,824
	小計	700,853 86.8%	745,425	△ 44,572
その他のコスト	公債費(利子のみ)	12,268 1.5%	13,414	△ 1,146
	その他			
	小計	12,268 1.5%	13,414	△ 1,146
行政コスト合計 ①	807,999 100.0%	855,346	△ 47,347	

●県債残高(R3.3.31現在)

3,572,896 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	414,575人
R元	377,926人
R2	79,370人

(大ホール・小ホールの利用率)

H30	大62.5%、小70.7%
R元	大59.1%、小68.1%
R2	大27.3%、小30.7%

●コスト指標

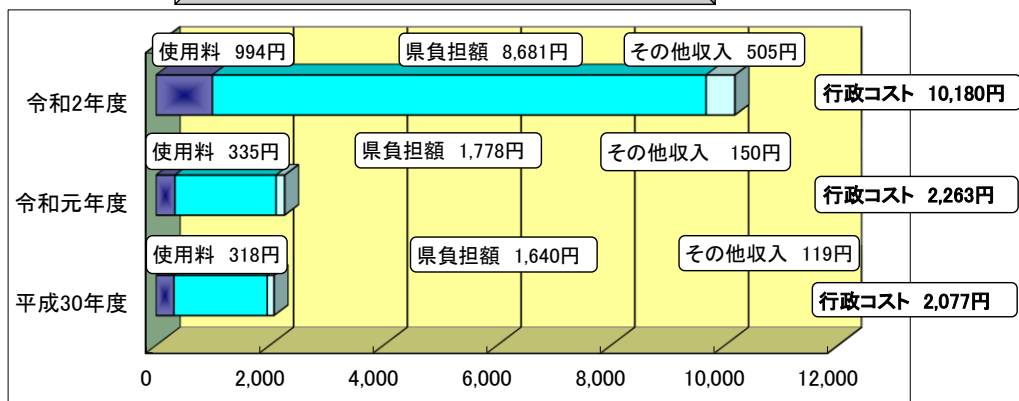
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	2,077円
R元	2,263円
R2	10,180円

【収入項目】

項目	金額	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	78,903	9.7%	126,617	△ 47,714
国庫支出金				
その他	40,090	5.0%	56,791	△ 16,701
計 ②	118,993	14.7%	183,408	△ 64,415
県単独負担額 ①-②	689,006	85.3%	671,938	17,068

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

指定管理者制度を継続し、コスト低減と利用者増に努めたが、新型コロナウイルス感染症の影響により利用者数が大幅に落ち込んだため、コスト指標は大幅に増加した。今後もお一層の県民サービスの向上と経費の削減に努める。

公共施設のコスト計算書

施設名	東山魁夷せとうち美術館		
所在地	坂出市沙弥島字南通224-13	供用開始年度	平成17年度
施設の種類	文化施設	施設設置根拠	香川県立東山魁夷せとうち美術館条例
設置目的	東山魁夷の作品等の展示、保管等を行なうことにより、本県における文化芸術の振興に寄与する。		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費	939,420 千円	施設の概要	
県債	663,843 千円	【施設】 鉄筋コンクリート造・鉄骨造 地上2階 建築面積717.41㎡、延床面積853.15㎡、展示室面積277㎡	
一般財源	275,577 千円		
その他	千円		
利用料金	観覧料	【職員の状況】	
テーマ作品展 一般・大学生	310円(240円)	正規職員	3人
特別展	展覧会による	会計年度任用職員	1人
※()内は団体料金		計	4人

行政コスト計算書				
【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)				
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	31,096 31.0%	30,767	329
	退職給与引当金繰入等	22,162 22.0%		22,162
	小計	53,258 53.0%	30,767	22,491
物にかかるコスト	物件費	29,707 29.5%	39,223	△ 9,516
	維持補修費	1,044 1.0%	811	233
	減価償却費	14,729 14.7%	14,729	
	その他			
小計	45,480 45.2%	54,763	△ 9,283	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,796 1.8%	1,926	△ 130
	その他			
	小計	1,796 1.8%	1,926	△ 130
行政コスト合計 ①	100,534 100.0%	87,456	13,078	

●県債残高(R3.3.31現在) 336,952 千円

●利用の状況 (年間利用者数)

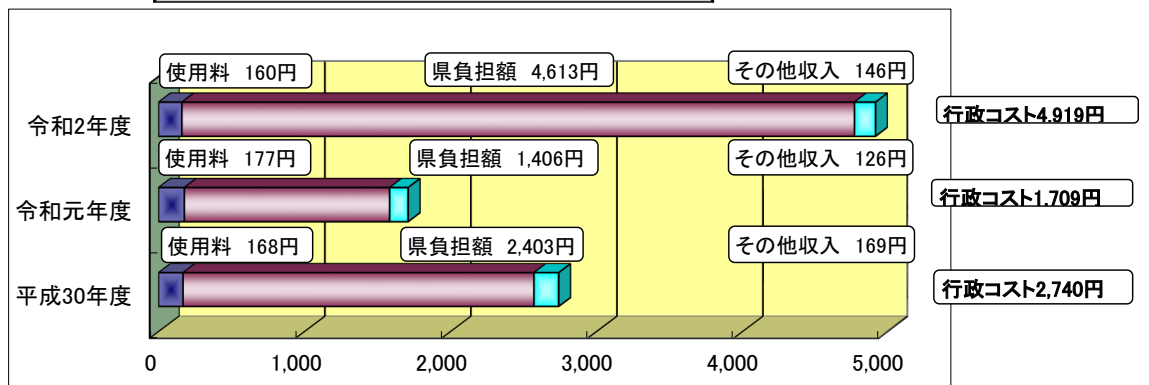
H30	40,793 人
R元	51,168 人
R2	20,439 人

●コスト指標 (利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	2,740 円
R元	1,709 円
R2	4,919 円

【歳入項目】				
使用料・手数料	3,258 3.2%	9,070	△ 5,812	
国庫支出金				
その他	2,989 3.0%	6,471	△ 3,482	
計 ②	6,247 6.2%	15,541	△ 9,294	
県単独負担額 ①-②	94,287 93.8%	71,915	22,372	

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

魅力ある特別展の開催とテーマ作品展の展示内容の工夫を図るとともに、効果的PRに努める。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立武道館		
所在地	高松市福岡町一丁目5-5	供用開始年度	昭和41年度
施設の種類	武道館	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（四電工・シンコースポーツグループ）		
整備事業費	51,388千円	施設の概要	
		【施設】	鉄筋コンクリート造 2階建 延床面積1,863.67㎡ 柔道場378.125㎡ 剣道場378.125㎡ 弓道場237.27㎡
		【職員の状況】	指定管理者 正社員4人 契約社員6人 臨時社員2人 計12人
利用料金	利用料		
専用半面使用9:00~17:00	4,260円		
専用半面使用9:00~13:00	2,290円		
専用半面使用(1時間)9:00~17:00	900円		
個人練習 一般	80円		
個人練習 生徒	60円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)					
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	41,597	76.9%	42,880	△ 1,283
	退職給与引当金繰入等				
	小計	41,597	76.9%	42,880	△ 1,283
物にかかるコスト	物件費	7,748	14.3%	8,369	△ 621
	維持補修費	2,192	4.1%	3,213	△ 1,021
	減価償却費	2,273	4.2%	2,273	
	その他				
	小計	12,213	22.6%	13,855	△ 1,642
その他のコスト	公債費(利子のみ)	299	0.6%	313	△ 14
	その他				
	小計	299	0.6%	313	△ 14
行政コスト合計 ①	54,109	100.0%	57,048	△ 2,939	
【収入項目】					
使用料・手数料	1,506	2.8%	2,690	△ 1,184	
国庫支出金					
その他	3,550	6.6%	6,032	△ 2,482	
計 ②	5,056	9.3%	8,722	△ 3,666	
県単独負担額 ①-②	49,053	90.7%	48,326	727	

●県債残高(R3.3.31現在)

32,720 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	62,915人
R元	58,951人
R2	29,850人

(稼働率(柔道場) 利用日数/開場日数)

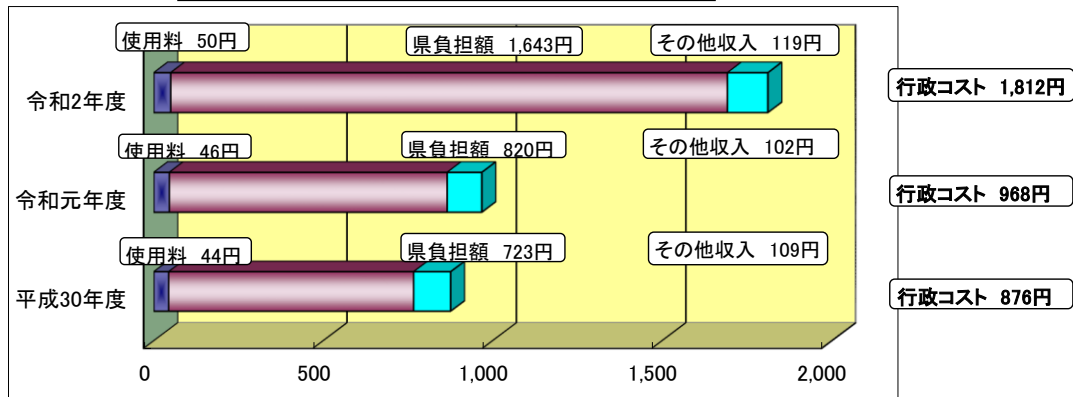
H30	98.3%
R元	98.3%
R2	99.4%

●コスト指標

(入館者1人当たりのコスト)

H30	876円
R元	968円
R2	1,812円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト削減、利用向上に向けた取組み状況

平成18年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及び利用者サービスの向上に努めている。令和2年度は、研修室を利用した書道教室や健康づくり教室、ヨガ教室などを実施し、高齢者や女性など新たな利用者の獲得に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立総合水泳プール		
所在地	高松市御殿町1585-1	供用開始年度	平成2年度
施設の種類	プール	施設設置根拠	香川県スポーツ施設条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(シンコースポーツ・四電ビジネスグループ)		
整備事業費	1,248,590千円	施設の概要	
		【施設】 管理棟	RC造 3階建 2,966㎡
		屋内プール棟	RC造 2階建 2,029㎡
		トレーニング室棟	RC造 平屋建 422㎡
		飛込みプール棟	RC造 平屋建 522㎡
利用料金	使用料金	【職員の状況】 指定管理者	
一般プール(夏)	370円	正規社員10人 嘱託社員1人 契約社員2人 臨時社員14人 財団職員2人	
一般プール(冬)	530円	計29人	
トレーニング一般(通年)	220円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	90,642	51.0%	104,602	△ 13,960
	退職給与引当金繰入等				
	小計	90,642	51.0%	104,602	△ 13,960
物にかかるコスト	物件費	36,100	20.3%	38,050	△ 1,950
	維持補修費	5,960	3.4%	6,801	△ 841
	減価償却費	45,184	25.5%	45,094	90
	その他				
	小計	87,244	49.1%	89,945	△ 2,701
その他のコスト	公債費(利子のみ)	8	0.0%	6,476	△ 6,468
	その他				
	小計	8	0.0%	6,476	△ 6,468
行政コスト合計 ①	177,894	100.0%	201,023	△ 23,129	

● 県債残高(R3.3.31現在)

228,000 千円

● 利用の状況

(年間利用者数)

H30	151,918人
R元	141,684人
R2	73,971人

(プールの利用率 利用日数/開場日数)

H30	100.0%
R元	100.0%
R2	100.0%

● コスト指標

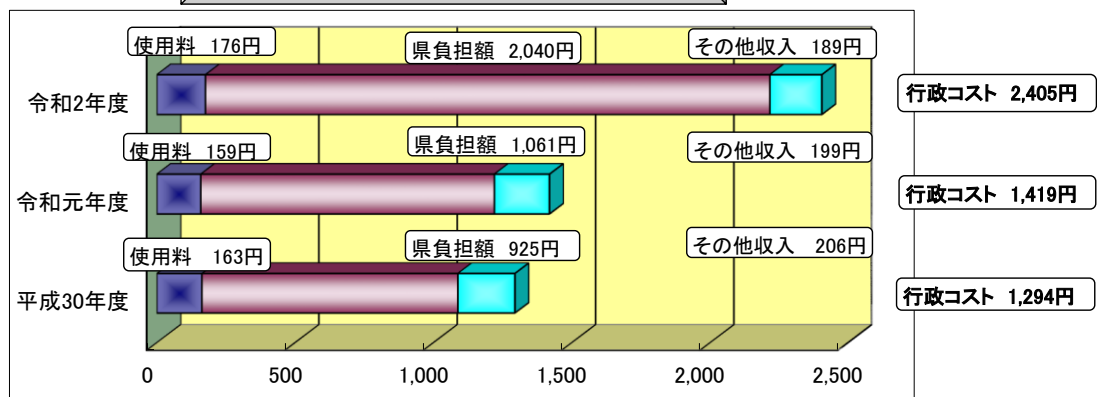
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	1,294円
R元	1,419円
R2	2,405円

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	13,011	7.3%	22,527	△ 9,516
国庫支出金				
その他	14,011	7.9%	28,221	△ 14,210
計 ②	27,022	15.2%	50,748	△ 23,726
県単独自負担額 ①-②	150,872	84.8%	150,275	597

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。令和2年度は、利用者ニーズに応じたフィットネス教室の開催やトレーニングルーム内のマシン修繕を実施し、利用者サービス向上を図った。また、HPだけでなくSNSで積極的な広報活動を行ったほか、LINEクーポンの導入等により、利用者の定着・新規獲得にも努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県総合運動公園		
所在地	高松市生島町614番地	供用開始年度	昭和57年度
施設の種類	運動公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（いくしまスポーツチャレンジ共同体）		
整備事業費	6,578,642千円	施設の概要	
		【施設】	県営野球場 県営第二野球場 県営テニス場 県営サッカー・ラケット場 県営第二サッカー・ラケット場 県営相撲場 多目的広場 芝生広場 駐車場
利用料金	使用料	【職員の状況】	
県営野球場（1日）	15,580円	指定管理者	
県営第二野球場（1日）	12,430円	正規社員5人 契約社員1人 臨時社員12人 財団職員5人 計23人	
県営テニス場（1時間）	520円		
県営サッカー・ラケット場（1日）	10,740円		
県営相撲場（1日）	3,130円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	65,746	31.5%	62,450	3,296
	退職給与引当金繰入等				
	小計	65,746	31.5%	62,450	3,296
物にかかるコスト	物件費	74,654	35.8%	78,756	△ 4,102
	維持補修費	16,994	8.1%	4,594	12,400
	減価償却費	51,030	24.4%	48,985	2,045
	その他				
	小計	142,678	68.3%	132,335	10,343
その他のコスト	公債費(利子のみ)	362	0.2%	408	△ 46
	その他				
	小計	362	0.2%	408	△ 46
行政コスト合計 ①	208,786	100.0%	195,193	13,593	

●県債残高(R3.3.31現在)

318,453 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	295,477人
R元	275,911人
R2	88,236人

(県営野球場の稼働率 利用日数/開場日数)

H30	71.0%
R元	71.9%
R2	65.7%

●コスト指標

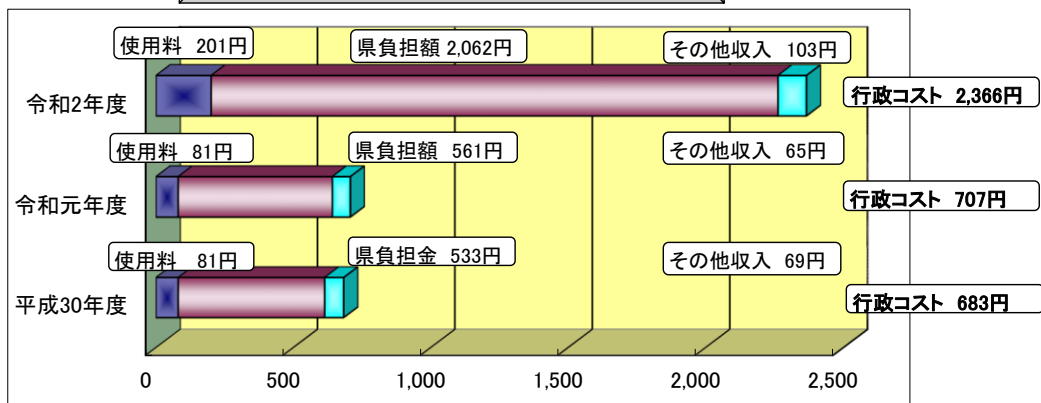
(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	683円
R元	707円
R2	2366円

【収入項目】

項目	令和2年度	構成比	令和元年度	平成30年度	増減
使用料・手数料	17,754	8.5%	22,402	△ 4,648	
国庫支出金					
その他	9,090	4.4%	18,044	△ 8,954	
計 ②	26,844	12.9%	40,446	△ 13,602	
県単独負担額 ①-②	181,942	87.1%	154,747	27,195	

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成20年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。昨年に引き続き、施設利用のキャンセルや空きが発生している場合、各種団体に積極的に案内し、利用促進を図った。また、利用者の要望に応じて、施設の早期開場を実施したほか、HP等で積極的な広報活動を実施した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県立丸亀競技場		
所在地	丸亀市金倉町830	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	競技場 第1種公認陸上競技場	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	スポーツに関する競技会、講習会等の利用に供することを目的とする。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(四電エグループ)		
整備事業費	18,535,918千円	施設の概要	
		【施設】	敷地面積 10.2ha 建築面積 17,923㎡ 延床面積 32,763㎡ トラック・フィールド 約2ha(全天候競技場) トラック 400mトラック9レーン(天然芝 106m×69.5m)
		【職員の状況】	指定管理者 正規社員11人 契約社員10人 臨時社員13人 計34人
利用料金	施設使用料		
専用使用(9:00~17:00)	41,900円		
共用使用(生徒)	150円		
共用使用(一般)	310円		

行政コスト計算書

【行政コスト】	令和 2 年度	(千円)			
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	76,792	15.4%	83,470	△ 6,678
	退職給与引当金繰入等				
	小計	76,792	15.4%	83,470	△ 6,678
物にかかるコスト	物件費	81,180	16.3%	88,083	△ 6,903
	維持補修費	7,510	1.5%	4,717	2,793
	減価償却費	322,636	64.6%	320,287	2,349
	その他	14	0.0%	15	△ 1
	小計	411,340	82.4%	413,102	△ 1,762
その他のコスト	公債費(利子のみ)	10,934	2.2%	12,066	△ 1,132
	その他				
	小計	10,934	2.2%	12,066	△ 1,132
行政コスト合計 ①	499,066	100.0%	508,638	△ 9,572	

【収入項目】				
使用料・手数料	28,429	5.7%	30,056	△ 1,627
国庫支出金				
その他	15,403	3.1%	22,778	△ 7,375
計 ②	43,832	8.8%	52,834	△ 9,002
県単独負担額 ①-②	455,234	91.2%	455,804	△ 570

●県債残高(R3.3.31現在)

3,672,796 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	374,010人
R元	328,697人
R2	152,109人

(主競技場の稼働率 利用日数/開場日数)

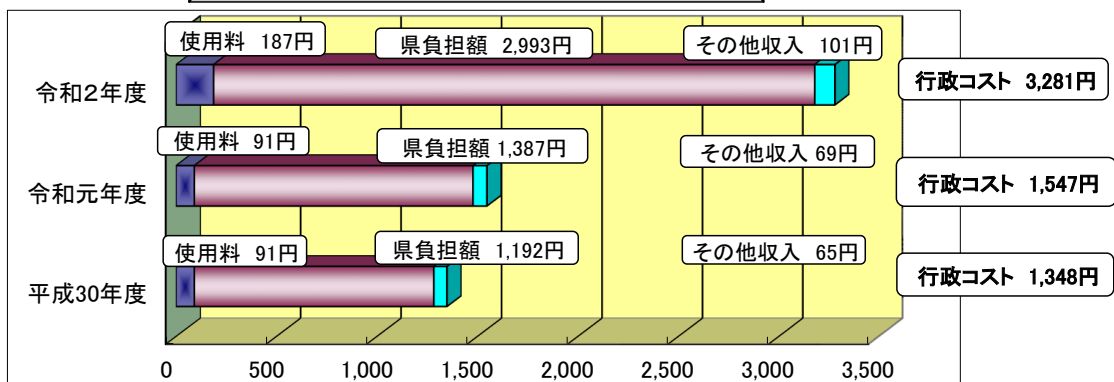
H30	98.6%
R元	99.9%
R2	100.0%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	1,348円
R元	1,547円
R2	3,281円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

平成19年度から指定管理者制度を導入し、経費節減及びサービス向上に努めている。
令和2年度は、LINEやFacebookによる積極的な情報発信を行った。また、屋外・屋内施設を活用した各種スポーツ教室を開設し、子ども・女性・高齢者など新たな利用者の獲得に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	瀬戸大橋記念公園		
所在地	香川県坂出市番の州緑町、沙弥島	供用開始年度	昭和63年度
施設の種類	都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	瀬戸大橋の意義や歴史を長く後世に残し伝えるため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者（（公財）瀬戸大橋記念公園管理協会）		
整備事業費	5,878,003千円	施設の概要	【施設】 総面積 22.5 ha 瀬戸大橋記念館、マリンドーム、水の回廊、浜栗林、遍路ギャラリー、芝生広場、球技場、ターゲット・パードゴルフ場
県債	3,650,600千円	【職員の状況】	
一般財源	1,091,585千円		
その他	1,135,818千円		
利用料金		職員	5名
記念館入館料	無料	準職員	4名
ブリッジシアター観覧料	無料	計	9名
球技場(学校等)	490円/時間		
ターゲット・パードゴルフ場	150円/人・時間		

行政コスト計算書

【行政コスト】	令和 2 年度	(千円)	280,786 千円		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	30,540	11.4%	30,334	206
	小計	30,540	11.4%	30,334	206
物にかかるコスト	物件費	31,423	11.7%	38,268	△ 6,845
	維持補修費	85,692	31.8%	137,823	△ 52,131
	減価償却費	94,658	35.2%	94,658	
	その他	5,344	2.0%	3,358	1,986
小計	217,117	80.7%	274,107	△ 56,990	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,948	0.7%	2,106	△ 158
	その他	19,446	7.2%	17,091	2,355
	小計	21,394	7.9%	19,197	2,197
行政コスト合計 ①	269,051	100.0%	323,638	△ 54,587	

● 県債残高(R3.3.31現在)

280,786 千円

● 利用の状況

(公園利用者数)

H30	367,000 人
R元	442,300 人
R2	313,800 人

(マリンドーム利用日数)

H30	28
R元	23
R2	15

● コスト指標

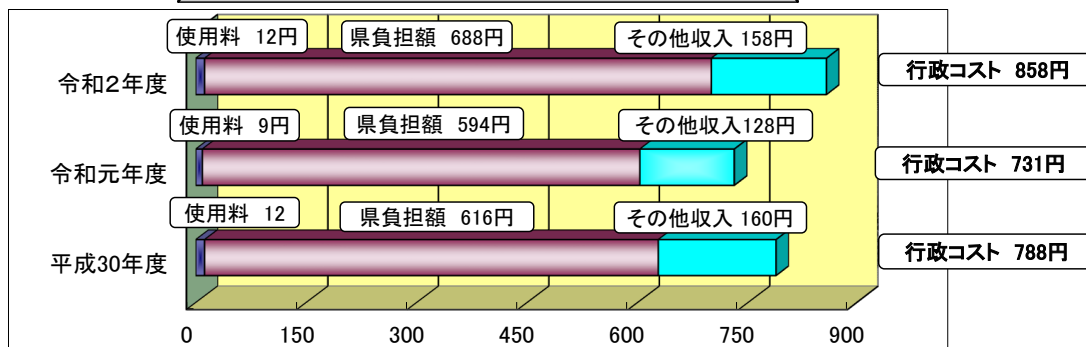
(公園利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	788 円
R元	731 円
R2	858 円

【収入項目】

使用料・手数料	3,652	1.4%	4,036	△ 384
国庫支出金				
その他	49,615	18.5%	56,807	△ 7,192
計 ②	53,267	19.8%	60,843	△ 7,576
県単独負担額 ①-②	215,784	80.2%	262,795	△ 47,011

利用者1人当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園維持管理業務内容の見直し(剪定樹木の選別、施工回数の見直し等)
- ・活性化対策の実施(広報・案内の充実、公園施設の充実、上映映像作品の更新)
- ・広報、案内の充実(観客誘致、広報宣伝等)

公共施設のコスト計算書

施設名	栗林公園		
所在地	高松市栗林町一丁目1564番地の2	供用開始年度	明治8年
施設の種類	特別名勝、都市公園	施設設置根拠	香川県都市公園条例
設置目的	公共の福祉の増進に資する都市公園としての役割と貴重な文化財の保存と観光資源の活用を図るため		
施設運営方法	直接運営		
整備事業費		施設の概要	
		【施設】	国の特別名勝に指定されている庭園の中で、最大の広さを持つ江戸時代初期の回遊式大名庭園。明治4年に高松藩が廃され、新政府の所有となったが、明治8年、県立公園として一般公開され、現在に至る。
		【職員の状況】	
利用料金	入園料	所長	総務課長 — 副主幹(1)主任(2) { 文化財専門官(1) 会計年度任用(5) 造園課長 — 主任(5)(造園技術5名) { 技師(4)(造園技術4名) 会計年度任用(4)
大人	410円		
小人	170円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	208,861	56.2%	215,724	△ 6,863
退職給与引当金繰入等			12,091	△ 12,091
小計	208,861	56.2%	227,815	△ 18,954
物にかかるコスト				
物件費	104,367	28.1%	127,978	△ 23,611
維持補修費	5,194	1.4%	4,960	234
減価償却費	51,866	14.0%	51,720	146
その他				
小計	161,427	43.5%	184,658	△ 23,231
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	1,195	0.3%	1,247	△ 52
その他				
小計	1,195	0.3%	1,247	△ 52
行政コスト合計 ①	371,483	100.0%	413,720	△ 42,237

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	114,383	30.8%	255,300	△ 140,917
国庫支出金	5,330	1.4%	5,762	△ 432
その他	15,536	4.2%	18,224	△ 2,688
計 ②	135,249	36.4%	279,286	△ 144,037
県単独負担額 ①-②	236,234	63.6%	134,434	101,800

●県債残高(R3.3.31現在)

340,003 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

H30	713,441
R元	725,697
R2	359,199

(個人での利用率)

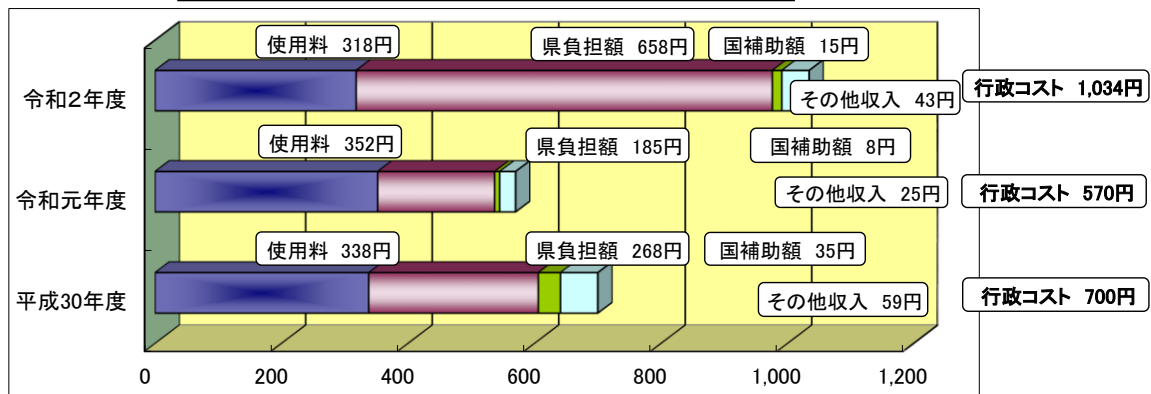
H30	89.2%
R元	90.7%
R2	97.7%

●コスト指標

(入園者1人当たりにかかるコスト)

H30	700円
R元	570円
R2	1,034円

入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

本園は、約75haにも及ぶ文化財庭園であるが、令和2年度についても、利用者の利便性の向上を図るため、園内既存施設の修繕等を行いつつも、園内資源を利用したり、効果的・効率的な運営により経費縮減に努めた。
 また、新型コロナウイルス感染防止対策を行いつつ、イベントの実施など、入園者の安全確保に配慮しつつ、集客に向けた取組みを実施した。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川用水記念公園		
所在地	三豊市財田町財田中2355	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	公園	施設設置根拠	香川用水記念公園条例
設置目的	香川用水の歴史と恩恵を永く後世に伝える。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(公益財団法人かがわ水と緑の財団)		
整備事業費	3,367,978千円	施設の概要	
県債	2,947,000千円	【施設】 設備面積	6ha
一般財源	420,978千円	屋外施設	遊具(足踏水車、3連水車、アルキメデスのポンプ等) 駐車場 3ヶ所
		屋外建築	休憩所 1ヶ所 便所 3ヶ所 機械棟 1棟 汚水処理施設 1棟
利用料金	観覧料	水の資料館	RC鉄筋コンクリート造 地上3階建 建築面積 779㎡ 延べ床面積 1,728㎡
無料開放		【職員の状況】	
		職員	3名 臨時職員 3名

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	15,722	25.8%	15,529	193
退職給与引当金繰入等				
小計	15,722	25.8%	15,529	193
物にかかるコスト				
物件費	9,989	16.4%	10,844	△ 855
維持補修費	17,887	29.2%	27,498	△ 9,611
減価償却費	14,780	24.2%	14,780	
その他	2,010	3.3%	1,371	639
小計	44,666	73.1%	54,493	△ 9,827
その他のコスト				
公債費(利子のみ)	681	1.1%	775	△ 94
その他				
小計	681	1.1%	775	△ 94
行政コスト合計 ①	61,069	100.0%	70,797	△ 9,728

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料				
国庫支出金				
その他				
計 ②				
県単独負担額 ①-②	61,069	100.0%	70,797	△ 9,728

●県債残高(R3.3.31現在)

526,446 千円

●利用の状況

(年間入園者数)

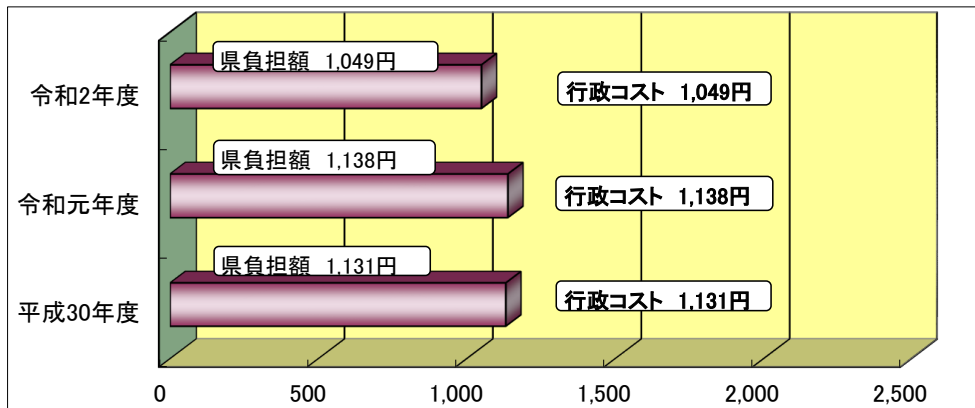
H30	62,240人
R元	62,210人
R2	58,205人

●コスト指標

(入園者1人当たりのコスト)

H30	1,131円
R元	1,138円
R2	1,049円

入園者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

- ・公園のパンフレットを県内の全小中学校及び幼稚園・保育所等に配付するとともに、ホームページでも広報を行っている。
- ・電気使用量をデマンド管理し、省エネ及び経費節減に取り組んでいる。
- ・校外学習と親子体験教室を自主事業として開催するとともに、水資源対策課の水資源巡りの旅「小・中学生の旅」を受け入れている。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県産業交流センター		
所在地	高松市林町2217-1	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	コンベンション施設	施設設置根拠	香川県産業交流センター条例
設置目的	人・物・情報の集積、交流、発信の場として、見本市、展示会などを介した産業交流、技術開発の促進により、地域産業や経済の活性化に寄与する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(穴吹エンタープライズ株式会社)		
整備事業費	10,679,105千円	施設の概要	
県債	8,518,000千円	【施設】 地下1階、地上3階(鉄筋コンクリート造)延床面積約12,000㎡、敷地約37,000㎡	
繰入	1,280,000千円	大展示場	4,015㎡
一般財源	881,105千円	小展示場	1,022㎡
		サンメッセホール	516㎡
		その他、会議室等	
利用料金	利用料	【職員の状況】	
大展示場全面平日全日	464,000円	指定管理者職員	11名
小展示場平日全日	157,000円		
大会議室全面全日	78,240円		
※(全日: 9:00~17:00)			

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	50,452	16.1%	51,935	△ 1,483
小計	50,452	16.1%	51,935	△ 1,483
物にかかるコスト				
物件費	96,211	30.7%	113,907	△ 17,696
維持補修費	21,470	6.9%	20,422	1,048
減価償却費	137,873	44.1%	137,873	
その他	6,897	2.1%	10,948	△ 4,051
小計	262,451	83.9%	283,150	△ 20,699
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他				
小計				
行政コスト合計 ①	312,903	100.0%	335,085	△ 22,182

【収入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料	65,038	20.8%	188,434	△ 123,396
国庫支出金				
その他	1,951	0.7%	1,764	187
計 ②	66,989	21.4%	190,198	△ 123,209
県単独負担額 ①-②	245,914	78.6%	144,887	101,027

●県債残高(R3.3.31現在)

29,000 千円

●利用の状況

(年間利用者数)

H30	727,000人
R元	543,000人
R2	78,000人

(大展示場の稼働率)

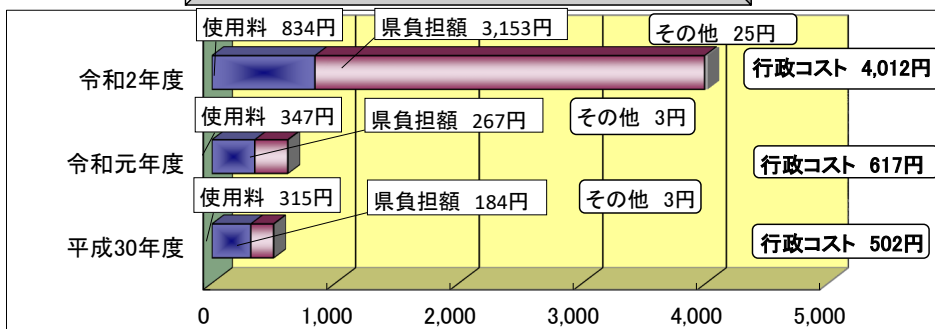
H30	60.6%
R元	48.6%
R2	12.1%

●コスト指標

(利用者1人当たりにかかるコスト)

H30	502円
R元	617円
R2	4,012円

利用者1人当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

新型コロナウイルス感染症の感染対策として、非接触体温計の貸出や抗菌フィルムの設置を行うほか、会議室でのWi-Fiサービスを開始することでweb会議を行いやすい環境を整備した。また、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、施設稼働率が低下したが、電力使用量管理や設備・備品の予防保全により、コスト縮減を図った。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県新規産業創出支援センター(ネクスト香川)		
所在地	高松市林町2217-44	供用開始年度	平成11年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県新規産業創出支援センター条例
設置目的	企業等の技術の高度化や新分野進出等を支援することにより、本県の産業の振興を図る。		
施設運営方法	全部委託:指定管理((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	1,722,336千円	施設の概要	
県債	927,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積2,500㎡、延床面積2,721㎡ インキュベート工房、EMC総合試験施設(大型・小型電波暗室等)	
国庫支出金	640,740千円		
一般財源	154,596千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	
インキュベート工房使用料	1,560~1870円/㎡	指定管理者職員 5名(うち2名はFROM香川兼務)	
電波暗室使用料	2,280~35,780円/時間		
会議室使用料等	110円~1,560円/時間		
電磁波特性試験手数料	4,930円~30,710円/通		
電磁環境試験成績書発行手数料	420円~22,000円/通		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和 2 年度	(千円)		
項目	当該年度	構成比	前年度	増減	
人にかかるコスト	人件費	15,736	12.3%	16,019	△ 283
	退職給与引当金繰入等				
	小計	15,736	12.3%	16,019	△ 283
物にかかるコスト	物件費	11,715	9.2%	10,518	1,197
	維持補修費	67,297	52.8%	61,420	5,877
	減価償却費	27,404	21.5%	28,292	△ 888
	その他				
小計	106,416	83.4%	100,230	6,186	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	132	0.1%	388	△ 256
	その他	5,262	2.1%	2,135	3,127
	小計	5,394	4.2%	2,523	2,871
行政コスト合計 ①	127,546	100.0%	118,772	8,774	

【収入項目】				
使用料・手数料	53,866	42.2%	59,079	△ 5,213
国庫支出金				
その他	0			
計 ②	53,866	42.2%	59,079	△ 5,213
県単独負担額 ①-②	73,680	57.8%	59,693	13,987

● 県債残高(R3.3.31現在) 190,837 千円

● 利用の状況
(インキュベート工房入居企業数)

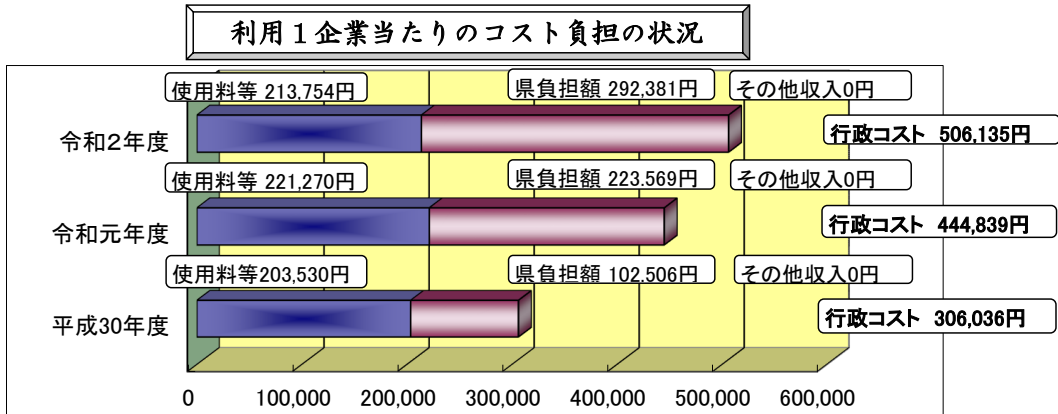
H30	6社
R元	7社
R2	7社

(EMC総合試験施設利用企業数)

H30	延べ245社
R元	延べ260社
R2	延べ245社

● コスト指標
(利用1企業当たりのコスト)

H30	306,036円
R元	444,839円
R2	506,135円



● コスト縮減、利用向上に向けた取り組み状況
 施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。指定管理者のホームページ等への掲載、企業訪問などによりインキュベート工房の入居者募集を行った。一般型に加え、新たに情報通信型インキュベート工房を設け、多様なニーズに対応しているほか、指定管理者のホームページでEMC総合試験施設の紹介及び予約状況を掲載するとともに企業を対象に、施設の周知説明会等を行った。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県科学技術研究センター(FROM香川)		
所在地	高松市林町2217-16	供用開始年度	平成12年度
施設の種類	産業支援施設	施設設置根拠	香川県科学技術研究センター条例
設置目的	産学官の連携による科学技術に関する研究開発を促進することによりその成果を活用した新規産業の創出及び地域産業の技術の高度化を図る。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者((公財)かがわ産業支援財団)		
整備事業費	2,425,723千円	施設の概要	
県債	2,262,000千円	【施設】 鉄骨造・3階 敷地面積4,872㎡、延床面積3,106㎡ 研究室(レンタル・ラボ)、共同機器室、バイオ関連共同実験室	
一般財源	163,723千円		
		【職員の状況】 指定管理者職員 2名(ネクスト香川兼務)	
利用料金	使用料		
研究室使用料	0~3,130円/㎡		
共同機器室機器使用料	680~4,400円/時間		
バイオ関連共同実験室機器使用料	20~350円/時間		

行政コスト計算書				
【行政コスト】		令和 2 年度	(千円)	
項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	ネクスト香川に一括計上		
	退職給与引当金繰入等			
	小計			
物にかかるコスト	物件費	7,731	10.7%	8,641 △ 910
	維持補修費	27,315	38.0%	28,797 △ 1,482
	減価償却費	34,790	48.4%	34,790
	その他			
小計	69,836	97.2%	72,228 △ 2,392	
その他のコスト	公債費(利子のみ)	1,958	2.6%	2,146 △ 188
	その他	37	0.2%	73 △ 36
	小計	1,995	2.8%	2,219 △ 224
行政コスト合計 ①	71,831	100.0%	74,447 △ 2,616	

【収入項目】				
使用料・手数料	857	1.2%	37	820
国庫支出金				
その他				
計 ②	857	1.2%	37	820
県単独負担額 ①-②	70,974	98.8%	74,410	△ 3,436

● 県債残高(R3.3.31現在)

372,342 千円

● 利用の状況

(研究室入居グループ数)

H30	12グループ
R元	12グループ
R2	12グループ

(共同機器室等利用企業・グループ数)

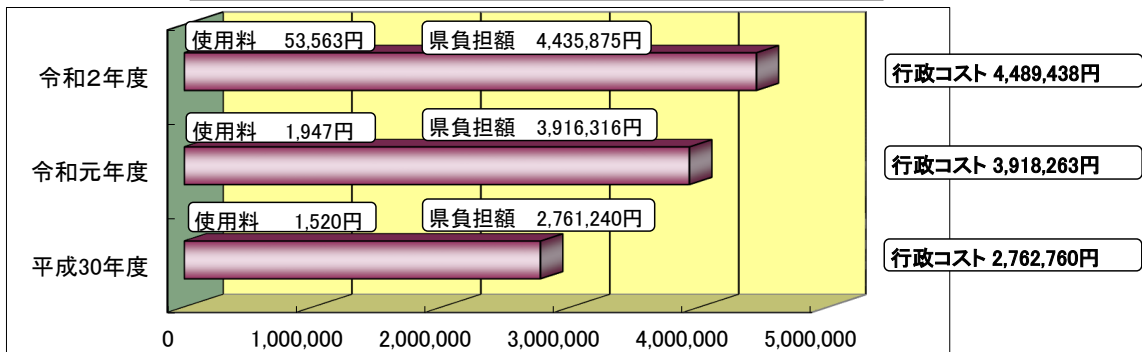
H30	延べ13
R元	延べ7
R2	延べ4

● コスト指標

(利用1企業・グループ当たりのコスト)

H30	2,762,760円
R元	3,918,263円
R2	4,489,438円

利用1企業・グループ当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

施設の利用者に対し、こまめに節水・節電などの呼びかけを行うことにより経費の節減に努めた。
企業や大学等の研究開発を支援するためバイオ関連の研究機器等を安価な使用料で開放しており、指定管理者のホームページ等でその利用を呼びかけるとともに、機器の講習会を開催するなど利用の促進に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県番町地下駐車場		
所在地	高松市番町3丁目1番1号	供用開始年度	平成5年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松市中心部の駐車場不足に対処し、道路交通の円滑化を図り、もって県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(西日本ビル管理株式会社)		
整備事業費	4,534,606千円	施設の概要	
県債	4,530,000千円	【施設】	鉄筋コンクリート造、地下2階、自走式
その他	4,606千円		延べ 13,568.2㎡
			駐車台数339台
利用料金	使用料	【職員の状況】	
普通料金(25分ごと)(H18.8~)	100円		指定管理者職員6人(状況に応じて本社より応援要員派遣)
昼間割引(6:30~18:00)(土日祝のみ)	最大1,200円		
夜間割引(18:00~8:00)	最大800円		
定期駐車(1台につき1月)	20,000円		
定期駐車(1台につき3月)	54,000円		
定期駐車(1台につき6月)	96,000円		

行政コスト計算書					
【行政コスト】		令和	2年度	(千円)	
項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	13,146	9.9%	14,006	△ 860
	小計	13,146	9.9%	14,006	△ 860
物にかかるコスト	物件費	13,861	10.4%	12,134	1,727
	維持補修費	938	0.7%	18,397	△ 17,459
	減価償却費	90,692	68.0%	90,692	
	その他	2,949	2.2%	2,470	479
	小計	108,440	81.3%	123,693	△ 15,253
その他のコスト	公債費(利子のみ)				
	その他	11,852	8.9%	10,055	1,797
	小計	11,852	8.9%	10,055	1,797
行政コスト合計 ①		133,438	100.0%	147,754	△ 14,316

【収入項目】					
使用料・手数料	44,143	33.1%	54,666	△ 10,523	
国庫支出金					
その他	456	0.3%	642	△ 186	
計 ②	44,599	33.4%	55,308	△ 10,709	
県単独負担額 ①-②	88,839	66.6%	92,446	△ 3,607	

● 県債残高(R3.3.31現在) 千円

● 利用の状況
(年間駐車台数)

H30	82,685台
R元	82,172台
R2	61,138台

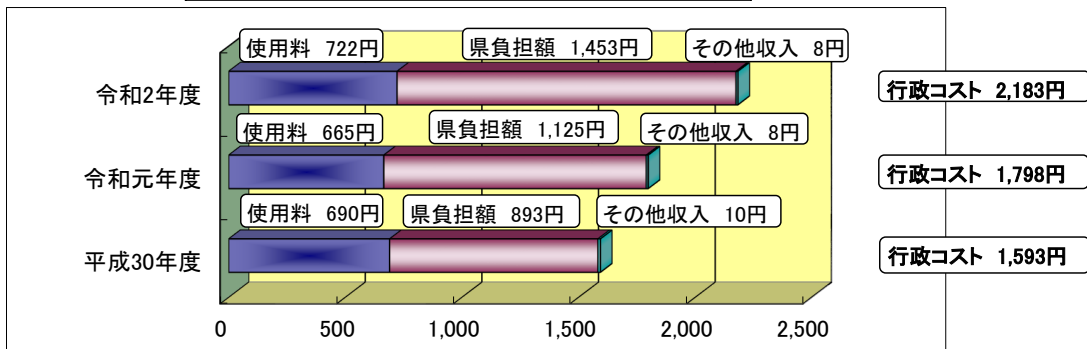
(1台当たり平均使用料)

H30	690円
R元	665円
R2	722円

● コスト指標
(1台当たりにかかるコスト)

H30	1,593円
R元	1,798円
R2	2,183円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

駐車台数が一定の台数以下の間は、地下1階のみを使用するなどにより、使用電力の削減に努めた。
回数券(プリペイドカード)や定期駐車をPRし、通勤者など定期的な利用者の獲得に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	香川県玉藻町駐車場		
所在地	高松市玉藻町12番2号	供用開始年度	平成9年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	玉藻地区における駐車場不足の解消及び道路交通の円滑化を図り、県民の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託: 指定管理者(西日本ビル管理株式会社)		
整備事業費	3,449,782千円	施設の概要	
県債	3,198,000千円	【施設】	鉄骨造(一部PC造)、地上3階、自走式 延べ 11,409.99㎡ 駐車台数333台
その他	251,782千円	【職員の状況】	指定管理者職員5人(状況に応じて本社より応援要員派遣)
利用料金	使用料		
普通料金(25分ごと)(H18.8~)	100円		
夜間割引(23:00~7:30)	最大500円		
定期駐車(1台につき1月)	14,000円		
定期駐車(1台につき3月)	37,800円		
定期駐車(1台につき6月)	67,200円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費	9,740	10.1%	9,673	67
小計	9,740	10.1%	9,673	67
物にかかるコスト				
物件費	8,743	9.0%	12,712	△ 3,969
維持補修費	47	0.0%	17,728	△ 17,681
減価償却費	68,996	71.2%	68,996	
その他	2,595	2.7%	4,055	△ 1,460
小計	80,381	83.0%	103,491	△ 23,110
その他のコスト				
公債費(利子のみ)				
その他	6,794	7.0%	5,168	1,626
小計	6,794	7.0%	5,168	1,626
行政コスト合計 ①	96,915	100.0%	118,332	△ 21,417

【収入項目】

使用料・手数料	17,840	18.4%	51,063	△ 33,223
国庫支出金				
その他				
計 ②	17,840	18.4%	51,063	△ 33,223
県単独負担額 ①-②	79,075	81.6%	67,269	11,806

●県債残高(R3.3.31現在)

- 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

H30	72,159台
R元	63,666台
R2	20,999台

(1台当たり平均使用料)

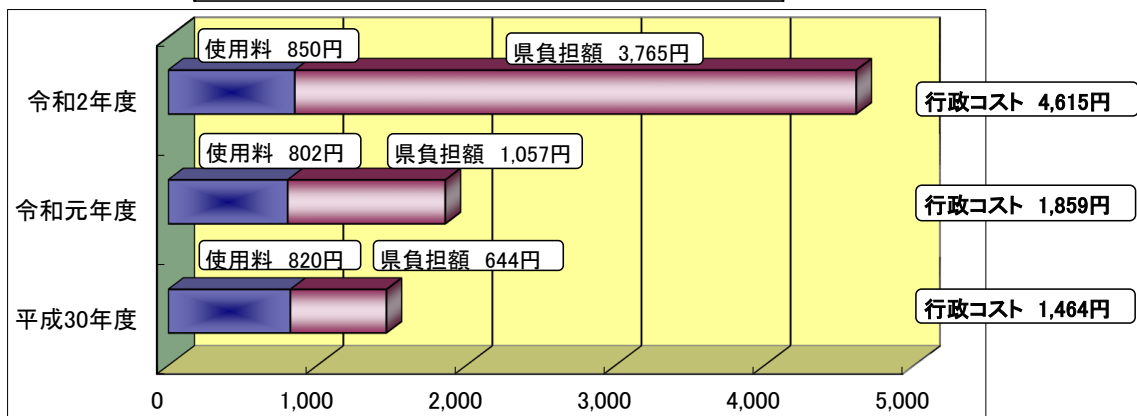
H30	820円
R元	802円
R2	850円

●コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H30	1,464円
R元	1,859円
R2	4,615円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

駐車台数が一定の台数以下の間は、2階のみを使用するなどにより、使用電力の削減に努めた。
回数券(プリペイドカード)や定期駐車をPRし、通勤者など定期的な利用者の獲得に努めた。

公共施設のコスト計算書

施設名	多目的広場地下駐車場		
所在地	香川県高松市サンポート4	供用開始年度	平成16年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県サンポート高松交流拠点施設条例
設置目的	サンポート高松地区における施設整備等に伴う駐車場需要に対応するため。		
施設運営方法	全部委託：指定管理者(シンボルタワー開発株式会社)		
整備事業費	5,949,800千円	施設の概要	【施設】 鉄筋コンクリート、地下2階、自走式 延べ 駐車場:14,056㎡、連絡通路:1,093㎡ 駐車台数302台
県債	5,092,000千円		
その他	857,800千円		
利用料金	使用料	【職員の状況】	シンボルタワー開発株式会社(指定管理者)の職員10人でサンポート高松の施設を管理運営 このうち1.3人分を多目的広場地下駐車場で負担
普通料金(2h未満 20分毎)	100円		
普通料金(2h～6h 30分毎)	100円		
普通料金(6h～12h)	1,400円		
平日定期(平日6:30～24:00、1月)	18,000円		
夜間定期(17:30～9:00、1月)	10,000円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目		当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト	人件費	6,474	3.5%	6,096	378
	退職給与引当金繰入等				
	小計	6,474	3.5%	6,096	378
物にかかるコスト	物件費	14,565	7.8%	14,826	△ 261
	維持補修費	29,534	15.9%	28,906	628
	減価償却費	118,996	64.0%	118,996	
	その他	127	0.1%	107	20
	小計	163,222	87.8%	162,835	387
その他のコスト	公債費(利子のみ)	10,834	5.8%	13,769	△ 2,935
	その他	5,346	2.9%	8,574	△ 3,228
	小計	16,180	8.7%	22,343	△ 6,163
行政コスト合計 ①		185,876	100.0%	191,274	△ 5,398

【歳入項目】

使用料・手数料	56,159	30.2%	98,540	△ 42,381
国庫支出金				
その他	4	0.0%		4
計 ②	56,163	30.2%	98,540	△ 42,377
県単独負担額 ①-②	129,713	69.8%	92,734	36,979

● 県債残高(R3.3.31現在)

623,095 千円

● 利用の状況

(年間駐車台数)

H30	131,573台
R元	132,588台
R2	75,494台

(1台当たり平均使用料)

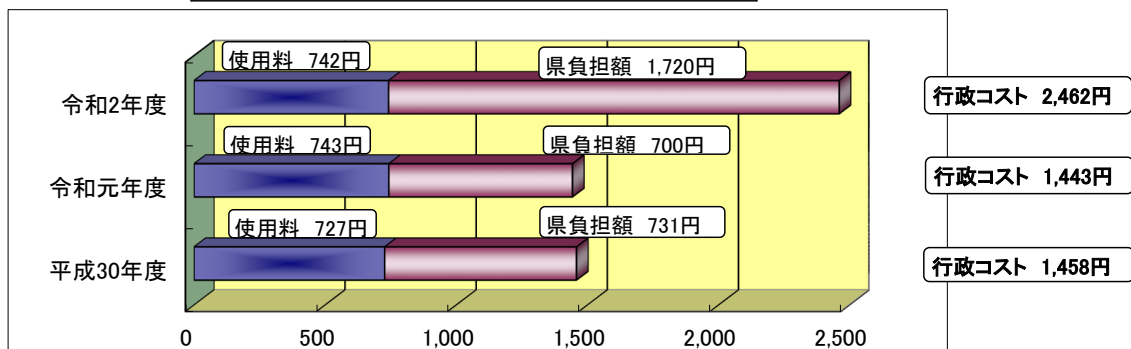
H30	727円
R元	743円
R2	742円

● コスト指標

(1台当たりにかかるコスト)

H30	1,458円
R元	1,443円
R2	2,462円

駐車1台当たりのコスト負担の状況



● コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

18年度から指定管理者を公募したことによるコスト縮減が図られている。また、指定管理者の広報・営業により利用促進を図るとともに、利用者の視点に立った利便性の向上に努めた。

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の影響で利用が落ち込み、1台当たりの行政コストが増大した。

公共施設のコスト計算書

施設名	高松空港県営駐車場		
所在地	高松市香南町大字岡1264-6他	供用開始年度	平成26年度
施設の種類	駐車場	施設設置根拠	香川県駐車場条例
設置目的	高松空港における駐車場需要に対応し、利用者の利便に資する。		
施設運営方法	全部委託:指定管理者(高松空港株式会社)		
整備事業費	80,394千円	施設の概要	【施設】 屋外平面駐車場 駐車場:1,718.63㎡、車路:4,409.03㎡ 駐車台数150台 【管理運営】 平成30年4月1日より、高松空港株式会社(指定管理者)が施設を管理運営。 利用料金制度を導入し、指定管理者が料金収入を原資として維持管理運営等を行っている。
県債	77,000千円		
その他	3,394千円		
利用料金	使用料		
1時間まで	無料		
1時間～2時間、30分毎	100円		
2時間以上24時間まで、1時間毎	150円		
5時間以上24時間まで	800円		
定期料金(1台につき1月)	5,140円		
定期料金(1台につき3月)	13,870円		
定期料金(1台につき6月)	24,670円		

行政コスト計算書

【行政コスト】 令和 2 年度 (千円)

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
人にかかるコスト				
人件費				
退職給与引当金繰入等				
小計				
物にかかるコスト				
物件費	3,500	58.9%	6,346	△ 2,846
維持補修費				
減価償却費	1,511	25.4%	1,511	
その他	388	6.5%	388	
小計	5,399	90.9%	8,245	△ 2,846
その他のコスト				
公債費(利息のみ)	539	9.1%	574	△ 35
その他				
小計	539	9.1%	574	△ 35
行政コスト合計 ①	5,938	100.0%	8,819	△ 2,881

●県債残高(R3.3.31現在)

64,160 千円

●利用の状況

(年間駐車台数)

H30	31,117台
R元	5,801台
R2	89台

(1台当たり平均使用料)

H30	464円
R元	1,473円
R2	1,258円

●コスト指標

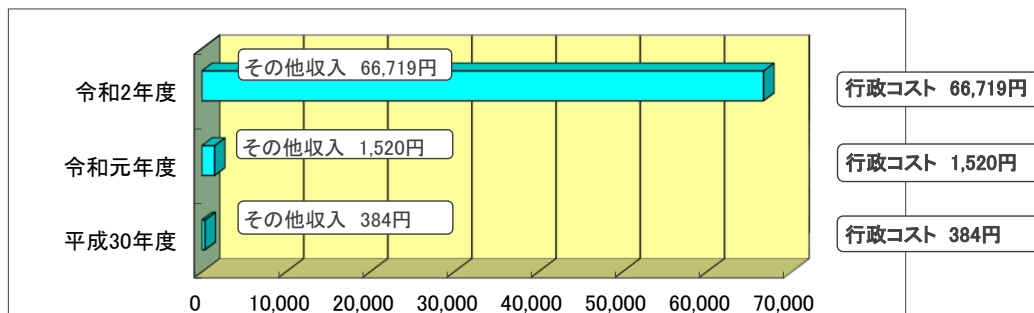
(1台当たりにかかるコスト)

H30	384円
R元	1,520円
R2	66,719円

【歳入項目】

項目	当該年度	構成比	前年度	増減
使用料・手数料				
国庫支出金				
その他	112	1.9%	8,546	△ 8,434
計 ②	112	1.9%	8,546	△ 8,434
県単独負担額 ①-②	5,826	98.1%	273	5,553

駐車1台当たりのコスト負担の状況



●コスト縮減、利用向上に向けた取組み状況

高松空港県営駐車場については、新型コロナウイルス感染拡大に伴う高松空港利用者数の激減と駐車場需要の減退から、指定管理者からの申出を受け、令和2年4月24日以降、営業を休止している。このことから、駐車1台当たりにかかるコストは、対前年度で大きく増加することとなった。
 指定管理者では利用の休止に伴い、同駐車場の管理運営業務の再委託先と協議の上、委託料の縮減等のコスト対応を行った。